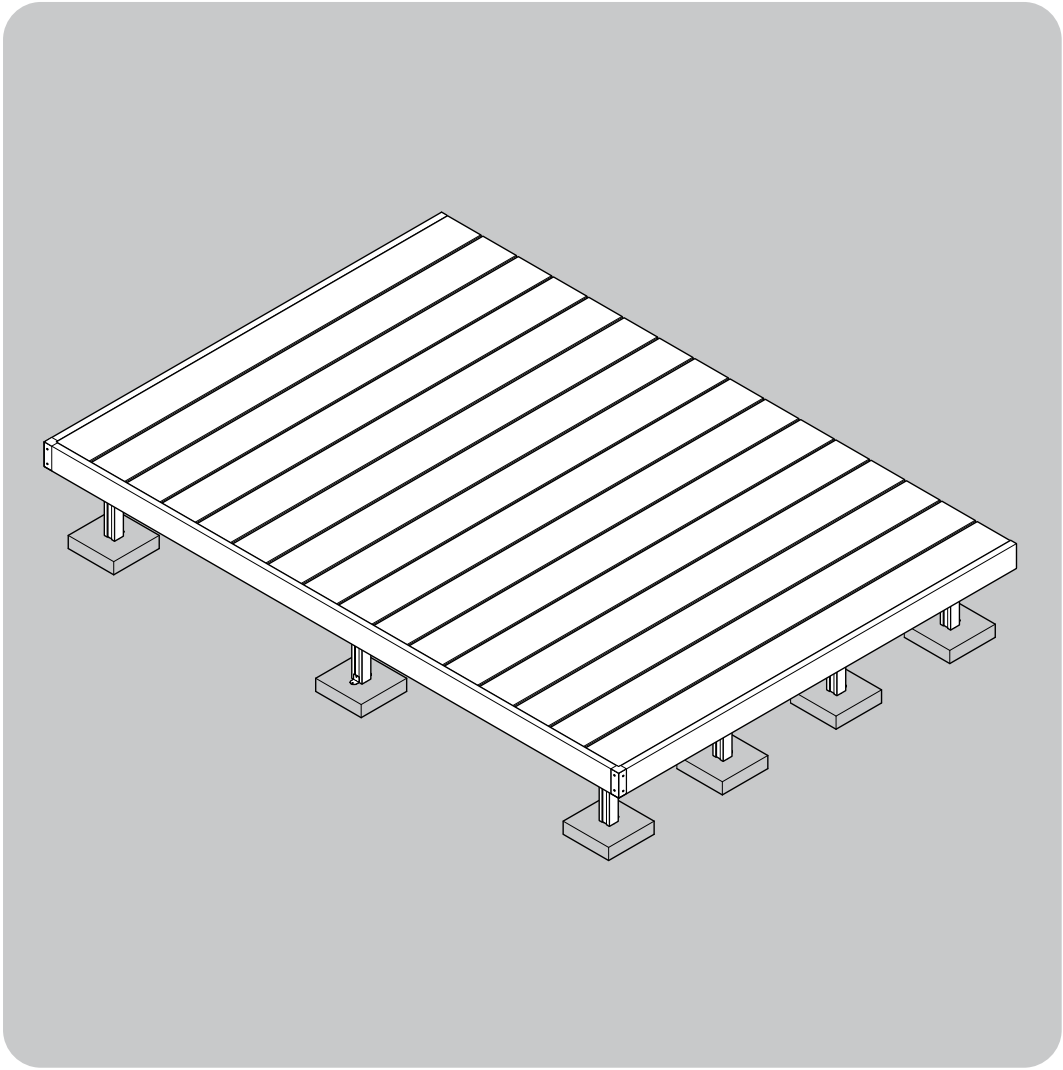
TOSTEM

工事店さま用

リコステージ Ⅱ

取付け説明書



取付けにあたって

この説明書では、お客様の安全と製品を正しく施工していただくための、取付けについて、重要な内容を記載しております。
ご留意いただき、施工してください。

取付けされる方へのお願い

●この説明書は必ず、取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●同梱されている取扱い説明書は、必ずお施主様へお渡しください。
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠ 注 意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠ 注 意

※製品の破損および落下のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

■施工前のご注意

●設置条件

・本製品は、一般住宅の地上階に取付ける商品です。それ以外の場所へは取付けないでください。
・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接あたらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
・施工プランと必要部材がそろっているか確認してください。
・施工場所に寸法的に正しく収まるか事前に十分確認をしてください。
・リコステージⅡ本体にウッドパーティション・デッキフェンス・ハイパーティション・ハイパーキャノピー・開き戸・点検口・収納蓋・ステップを取り付けるとき、大引きにあらかじめ専用の部材を取り付ける必要がある場合があります。それぞれの取付け説明書を参照して、必要な部材を取り付けてください。

●施工前の調査について

・施工前に地下埋設物（給水管など）に影響を及ぼさないか調査を行ってください。

●製品の保管について

・本製品は、木粉入り高密度樹脂製のため、熱変形することがあります。取扱には十分注意してください。
・立てかけ保管しないで、平らな場所に保管してください。
・暖房機、焚き火近くの高温になる場所には保管しないでください。
・製品上に重量物を長時間重ね置きしないでください。
・給湯器、暖房機などの熱排気が製品に直接当らないようにしてください。

■施工上のご注意

●基礎について

・基礎石は当社指定寸法以上のものを使用し、確実に設置してください。

●組立施工について

・みだりに改造、変更をしないでください。
・束柱の移動範囲は当社指定範囲にしてください。

●部材の固定について

・組立てねじ・ボルトは必ず当社指定のものを指定の本数使用してください。また使用中緩まないように締め付けてください。

⚠ 注　意

※製品腐食のおそれがありますので下記事項をお守りください。

●絶縁処理について

・アルミ形材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触するときは絶縁処理をしてください。

●ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf/cm}のトルクで止めた後、緩み・ガタツキのないことを確認してください。

■組立て・施工のお願い

●組立て・施工は専門業者が行ってください。

●製品の施工については、必ず取付け説明書に従ってください。

●水平、垂直は水準器などで正確に出してください。

●当社指定の付属部品以外は取付けないでください。

・人工木材は温度変化による伸縮により長さに若干のばらつきがあります。施工前に長さをそろえてからご使用ください。

・人工木材は表面に加工処理を施してありますので、施工前に加工方向をそろえてください。床板施工方向がそろっていないと色調に濃淡が出ます。

●人工木材の処理について

・人工木材は補強材、ねじを分解して産業廃棄物として処理してください。

●施工中についた、汚れや傷について

・モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性でシミやムラなどの外観不良の原因となります。施工中に付着した場合は速やかに拭き取ってください。

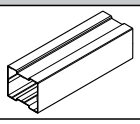
・施工中についた表面の汚れやシミは、引渡し前に水洗いをしてください。中性洗剤をうすめたものを使用した場合はよく水洗いしてください。

・施工中についた表面すり傷は、引渡し前に研磨紙で補修してください。表面研磨する場合は、事前の研磨方向に沿って行ってください。

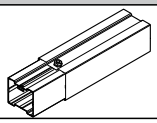
・市販の研磨紙を利用する際は60番の研磨紙を用いてください。中性洗剤をうすめたものを使用した場合はよく水洗いしてください。

梱包明細表

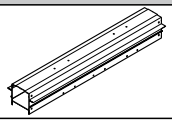
【1】束柱Aセット

名　称	略　図	員 数			
		1本入り	4本入り	6本入り	9本入り
束柱A		1	4	6	9
束柱固定金具		1	4	6	9
φ4×32セルフタップアンカー		1	4	6	9
φ4×13ナベドリルネジ		5	20	30	45

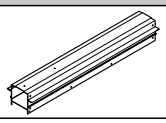
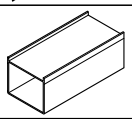
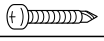
【2】束柱Bセット

名　称	略　図	員 数		
		1本入り	3本入り	4本入り
束柱B		1	3	4
束柱固定金具		1	3	4
φ4×32セルフタップアンカー		1	3	4
φ4×19ナベドリルネジ		9	27	36

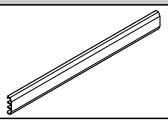
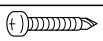
【3】大引きセット

名　称	略　図	員 数	
		1本入り	2本入り
大引き		1	2

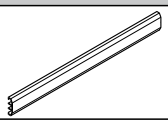
【4】大引き　連棟用

名　称	略　図	員 数	
		1本入り	2本入り
大引き		1	2
大引きスリーブ		1	2
φ4×19ナベドリルネジ		9	17

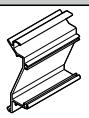
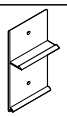
【5】根がらみ6尺、7尺　オプション

名　称	略　図	員 数	
		2本入り	3本入り
根がらみ		2	3
φ4×19ナベドリルネジ		6	9

【6】根がらみ8尺、9尺、10尺　オプション

名　称	略　図	員 数	
		2本入り	3本入り
根がらみ		2	3
φ4×19ナベドリルネジ		9	12

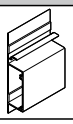
【7】側面幕板A取付材セット

名　称	略　図	員 数		
		1個入り	3個入り	5個入り
側面幕板A取付材		1	3	5
幕板金具A		1	3	5

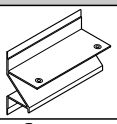
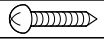
【7】つづき

名　称	略　図	員 数		
		1個入り	3個入り	5個入り
クッション材		1	3	5
φ5×20トラスタッピン1種		2	6	10
φ4×40サラドリルネジ		4	8	12
φ4×20ナベタッピン2種G＝5		4	12	20

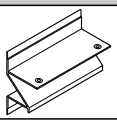
【8】側面幕板B取付材セット

名　称	略　図	員 数		
		1個入り	3個入り	5個入り
側面幕板B取付材		1	3	5
幕板B取付補助部材		2	4	6
φ4×25サラドリルネジ		6	12	18
φ4×20ナベタッピン2種G＝5		4	12	20
φ4×30トラスタッピン1種		4	8	12

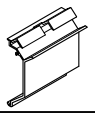
【9】正面幕板A取付材セット（大引き固定用）

名　称	略　図	員 数		
		1個入り	3個入り	5個入り
正面幕板A取付材（大引き固定用）		1	3	5
φ5×20トラスタッピン1種		2	6	10
φ4×40サラドリルネジ		4	8	12
φ4×13サラドリルネジ		2	6	10

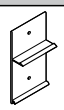
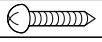
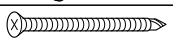
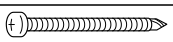
【10】正面幕板B取付材セット（大引き固定用）

名　称	略　図	員 数		
		1個入り	3個入り	5個入り
正面幕板B取付材（大引き固定用）		1	3	5
φ4×25サラドリルネジ		4	8	12
φ4×13サラドリルネジ		2	6	10

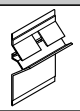
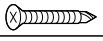
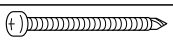
【11】正面幕板A取付材セット（床板固定用）

名　称	略　図	員 数		
		1個入り	3個入り	5個入り
正面幕板A取付材（床板固定用）		1	3	5

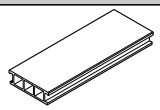
【11】つづき

名　称	略　図	員 数		
		1個入り	3個入り	5個入り
幕板金具A		1	3	5
クッション材		1	3	5
φ5×20トラスタッピン1種		2	6	10
φ4×40サラドリルネジ		4	8	12
φ4×40ナベドリルネジ		2	6	10

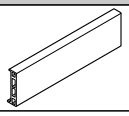
【12】正面幕板B取付材セット（床板固定用）

名　称	略　図	員 数		
		1個入り	3個入り	5個入り
正面幕板B取付材（床板固定用）		1	4	6
φ4×25サラドリルネジ		4	10	14
φ4×40ナベドリルネジ		2	8	12

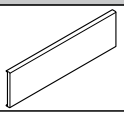
【13】床板セット

名　称	略　図	員 数		
		1本入り	2本入り	3本入り
床板		1	2	3

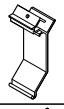
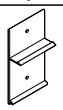
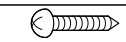
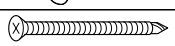
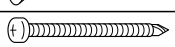
【14】幕板Aセット

名　称	略　図	員 数	
		1本入り	2本入り
幕板A		1	2

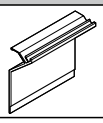
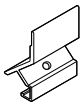
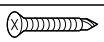
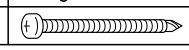
【15】幕板Bセット

名　称	略　図	員 数	
		1本入り	2本入り
幕板B		1	2

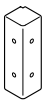
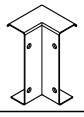
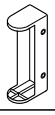
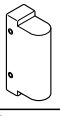
【16】コーナー幕板A取付材セット（角度切り用）

名　称	略　図	員 数
コーナー幕板A取付材		2
幕板金具B		1
φ5×20トラスタッピン1種		2
φ4×40サラドリルネジ		4
φ4×40ナベドリルネジ		2

【17】コーナー幕板B取付材セット（R用/角度切り用）

名　称	略　図	員 数
コーナー幕板B取付材1		2
コーナー幕板B取付材2		1
φ4×25サラドリルネジ		4
φ4×40ナベドリルネジ		2

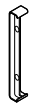
【18】幕板Aコーナーキャップセット

名　称	略　図	員 数		
		90°	入隅	フリー
幕板A90°コーナーキャップ		1	―	―
幕板A入隅コーナーキャップ		―	1	―
幕板Aフリーコーナーキャップ A		―	―	1
幕板Aフリーコーナーキャップ B		―	―	1
φ4×14サラタッピン1種		4	4	4

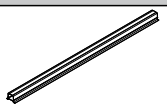
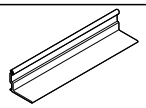
【19】幕板Bコーナーキャップセット

名　称	略　図	員　数		
		90°	入隅	フリー
幕板B90°コーナーキャップ		1	—	—
幕板B入隅コーナーキャップ		—	1	—
幕板Bフリーコーナーキャップ A		—	—	1
幕板Bフリーコーナーキャップ B		—	—	1
φ4×14サラタッピン1種		2	2	4

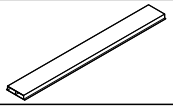
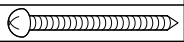
【20】幕板連結キャップ

名　称	略　図	員　数	
		A	B
幕板A連結キャップ		1	—
幕板B連結キャップ		—	1
φ4×14サラタッピン1種		2	

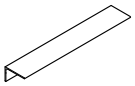
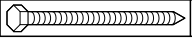
【21】補助根太セット

名　称	略　図	員　数
補助根太		1
補助根太取付部品		4
φ4×13ナベドリルネジ		16

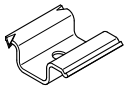
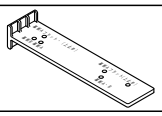
【22】床板補強材

名　称	略　図	員　数
床板補強材		1
φ4×13ナベドリルネジ		20
φ3.8×13ナベタッピンネジ		40
φ4×70トラスタッピン1種		24

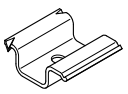
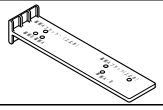
【23】躯体付けアングルセット

名　称	略　図	員　数
躯体付けアングル		1
φ6×70六角タッピンネジ1種		6

【24】床板取付部品セット

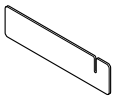
名　称	略　図	員　数		
		基本	追加40	追加20
横止め金具		60	40	20
孔開け治具		1	—	—
補修用研磨紙		2	—	—
φ4×13ナベドリルネジ		66	44	22
取付け説明書〈MAL-244〉	—	1	—	—
取扱い説明書〈MAL-955〉	—	1	—	—

【25】床板取付部品セット（補修用）　オプション

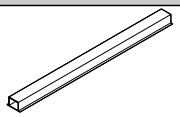
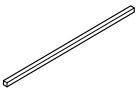
名　称	略　図	員　数	
		上止め補修	横止め補修
横止め金具		5	10
孔開け治具		1	1

名　称	略　図	員　数	
		上止め補修	横止め補修
交換用ビット		1	1
補修用研磨紙		1	1

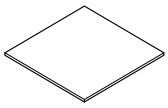
【25】つづき

名　称	略　図	員　数	
		上止め補修	横止め補修
横止め金具移動治具		1	1

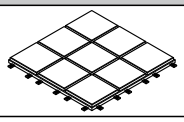
【26】タイルフロアー根太セット　TOEX
※本製品はTOEX商品で取付け可能です。

名　称	略　図	員　数
タイルフロアー根太		3
隙間隠しパッキン		4
φ4×13ナベドリルネジ		13
φ4×35サラドリルネジ		10

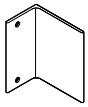
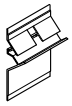
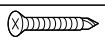
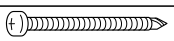
【27】タイルフロアーベース　TOEX
※本製品はTOEX商品で取付け可能です。

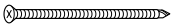
名　称	略　図	員　数
タイルフロアーベース		1

【28】タイルフロアー　TOEX
※本製品はTOEX商品で取付け可能です。

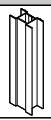
名　称	略　図	員　数
タイルフロアー		9

【29】くり貫き部用幕板固定金具セット　オプション

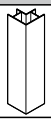
名　称	略　図	員　数
くり貫き部用幕板固定金具		4
正面幕板B取付材（床板固定用）		4
M4×25サラ小ネジ		8
M4六角ナット		8
M4用平座金		8
M4用バネ座金		8
φ4×25サラドリルネジ		16
φ4×40ナベドリルネジ		8

名　称	略　図	員　数	
		上止め補修	横止め補修
φ4×65サラドリルネジ		20	−
φ4×13ナベドリルネジ		7	12
取付け説明書〈MAL-244〉	——	1	1

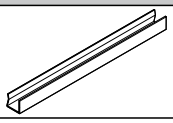
【30】床下化粧材縦枠　オプション

名　称	略　図	員　数
縦枠		1
φ4×40ナベドリルネジ		4

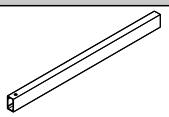
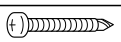
【31】床下化粧材コーナー枠　オプション

名　称	略　図	員　数
コーナー枠		1
φ4×35ナベドリルネジ		4

【32】床下化粧材上下枠　オプション

名　称	略　図	員　数
上下枠		1
φ4×10トラスネジ1種		10

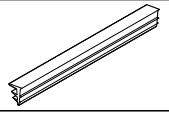
【33】筋交いセット　オプション

名　称	略　図	員　数	
		2本入り	3本入り
筋交い		2	3
筋交いキャップ		4	6
φ4×25ナベドリルネジ		4	6

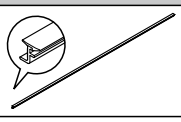
【34】ラチスパネル　オプション

名　称	略　図	員　数
ラチスパネル		1

【35】躯体側隙間塞ぎ材　オプション

名　称	略　図	員　数
躯体側隙間塞ぎ材		1

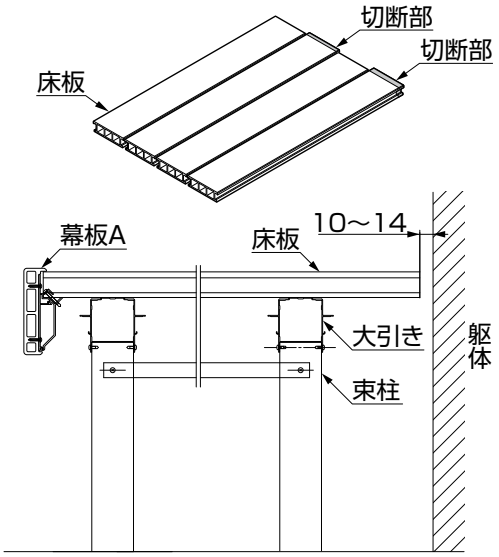
【36】目地塞ぎ材A　オプション

名　称	略　図	員　数
目地塞ぎ材A		5

目次

1　施工時の重要確認事項 …… 8
2　基本寸法と各部名称 …… 9
　1．各部名称 …… 9
　2．詳細納まり …… 10
　3．基本寸法 …… 12
3　本体の施工方法 …… 16
　1．基礎石配置 …… 16
　2．基礎の施工 …… 16
　3．束柱・大引きの取付け …… 17
　4．筋交いの取付け …… 18
　5．根がらみの取付け オプション …… 20
　6．側面幕板取付材の取付け …… 21
　7．床板補強材の取付け …… 22
　8．補助根太の取付け …… 24
　9．躯体付けアングルの取付け オプション …… 27
　10．正面幕板取付材（大引き固定用）の取付け …… 27
　11．床板の取付け …… 29
　12．くり貫き部幕板の取付け オプション …… 35
　13．タイルフロアーの取付け TOEX …… 37
　14．正面・コーナー幕板取付材の取付け …… 40
　15．幕板の取付け …… 44
　16．床下化粧材の取付け オプション …… 53
　17．躯体側隙間塞ぎ材の取付け オプション …… 55
　18．施工後の仕上げ …… 55
　19．横止め金具の付け替え オプション …… 56
　20．関連商品への取付け オプション …… 57

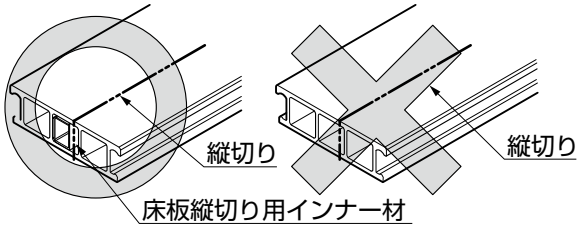
1.施工時の重要確認事項



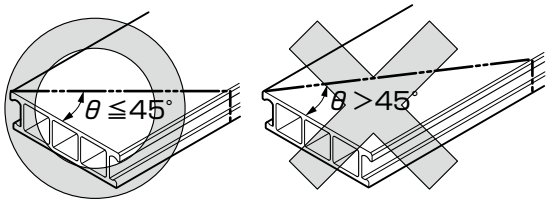
※人工木材は温度変化による伸縮により長さに若干のばらつきがあります。施工前に長さをそろえてからご使用ください。

※床板の間口調整は床板枚数単位で行ってください。

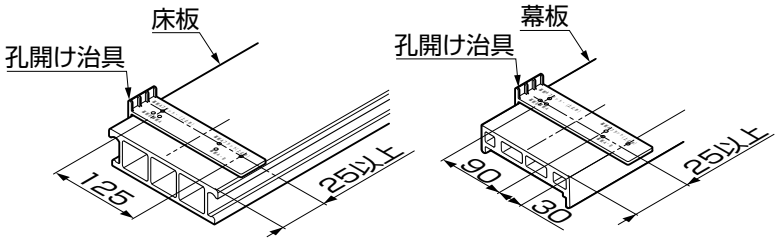
※躯体と床板端部の隙間を10～14mmにしてください。



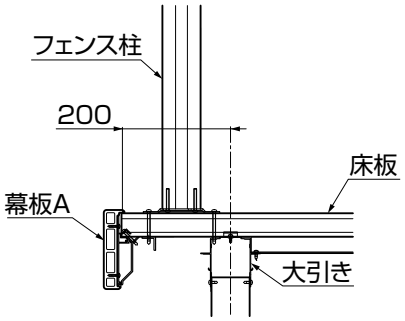
※納まり上、床板の縦切りが部分的に必要な場合は「床板縦切りインナー材」を使用してください。



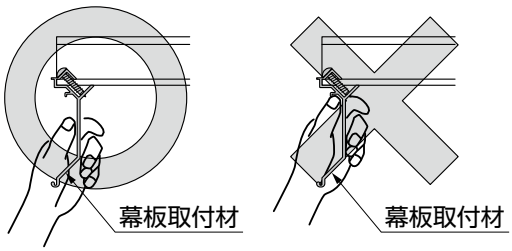
※床板・幕板を斜めきりするときは45°以内にしてください。切り込みすぎは材料の変形・破損の原因になります。



※床板・幕板を取り付ける際は、専用の孔開け治具を使い固定してください。ネジの打ち込み位置がずれると、材料の変形・破損の原因になります。



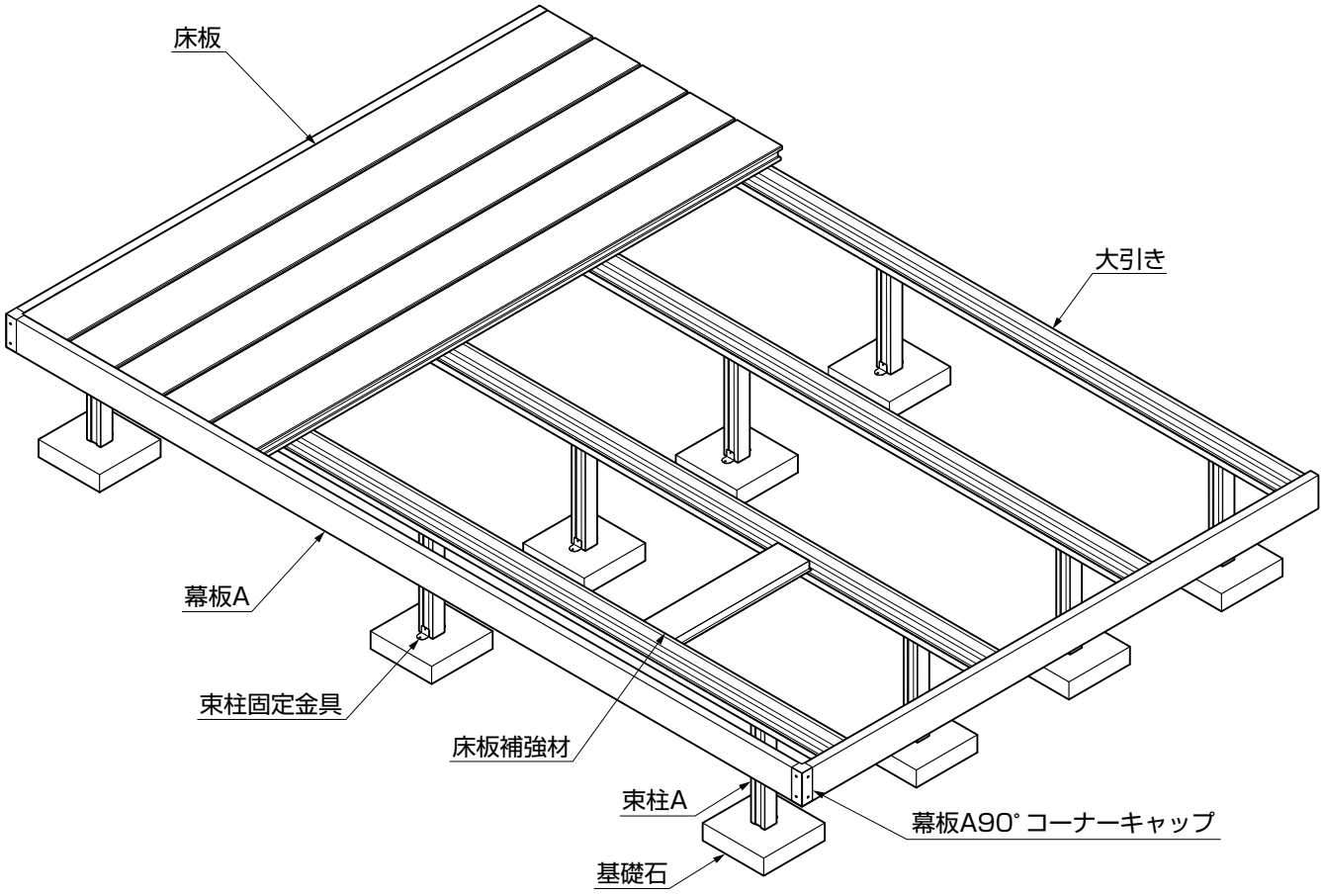
※デッキ前面部にフェンス柱を取り付ける場合は、床板の張出しを大引きの中心から200mmにしてください。短くすると、柱が取り付かなくる場合があります。



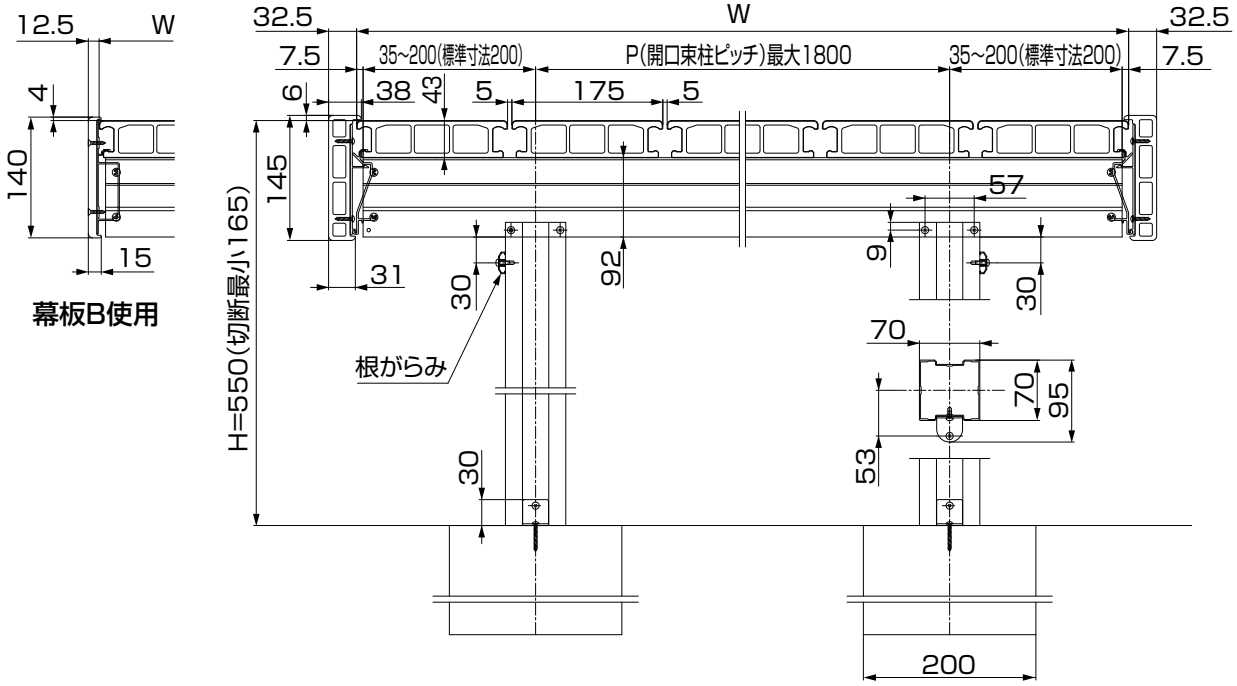
※正面幕板A取付材、正面幕板B取付材、コーナー幕板A取付材（角度切り用）、コーナー幕板B取付材（R用/角度切り用）を床板に取り付ける際は下部を持って、ネジ止めしてください。上部を持つと貫通したネジで手を傷つける場合があります。

2.基本寸法と各部名称

1 各部名称

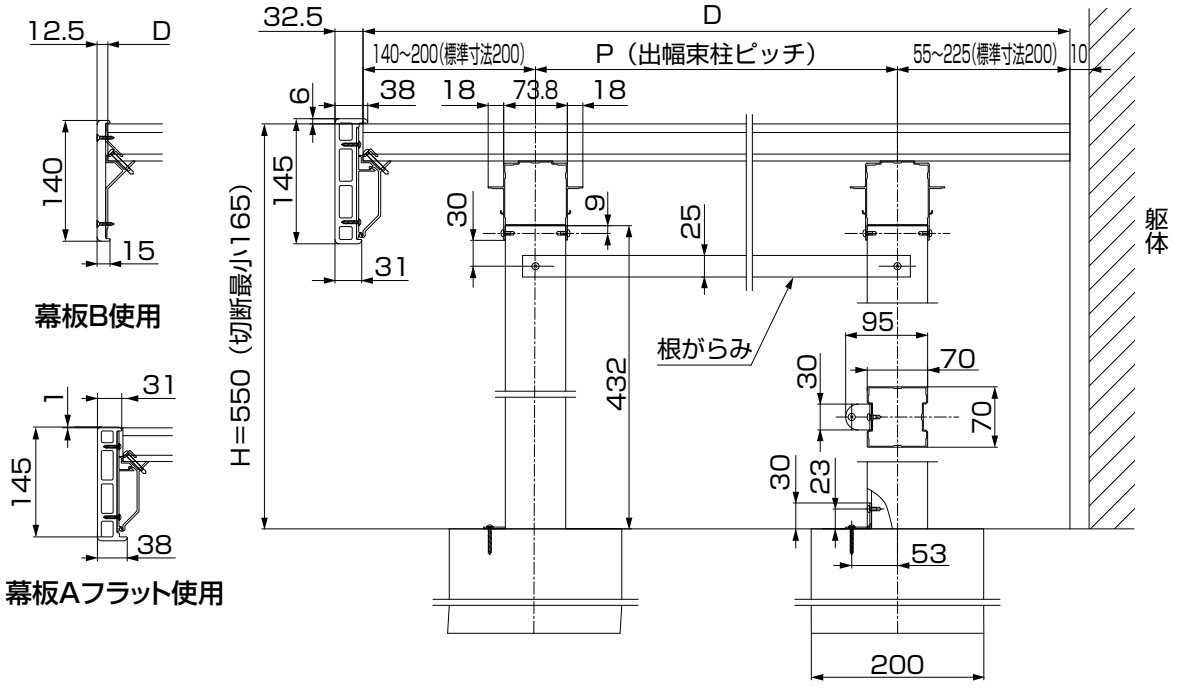


2-1 幕板床板固定　間口方向納まり図（正面）●標準束柱・幕板A使用の場合を示します。



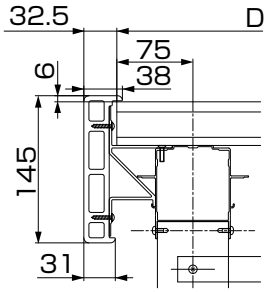
※デッキの間口最大寸法は、W+65mm（25mm）です。（　）は、幕板B寸法です。
※デッキ最低H寸法は、束柱A：165mm、束柱B：250mmです。

2-2 幕板床板固定　出幅方向納まり図（側面）●標準束柱・幕板A使用の場合を示します。

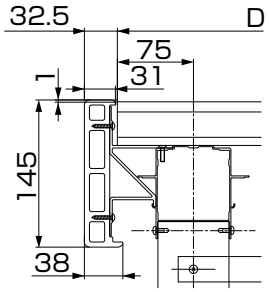


※デッキの出幅最大寸法は、D+32.5mm（12.5mm）です。
※デッキ最低H寸法は、束柱A：165mm、束柱B：250mmです。

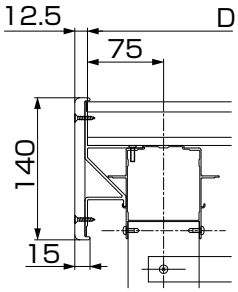
2-3 幕板大引き固定　出幅方向納まり図（側面）



幕板A段差使用



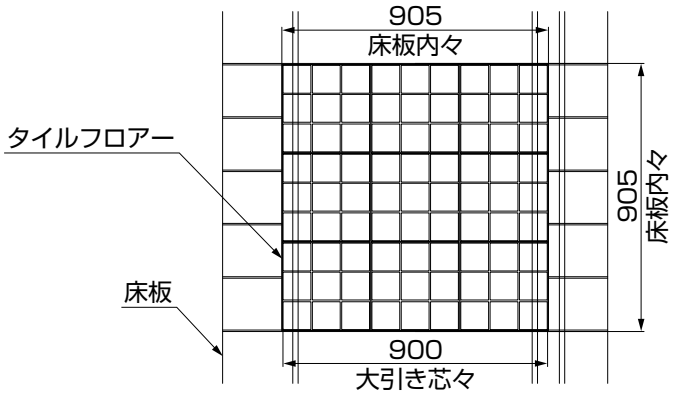
幕板Aフラット使用

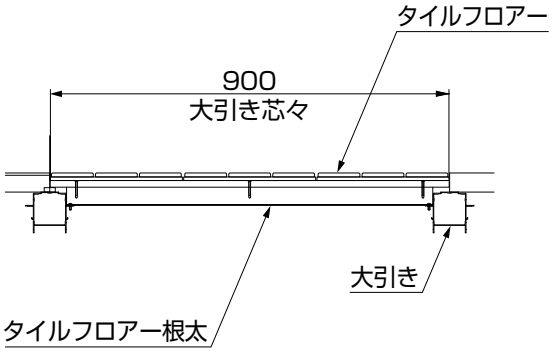


幕板B使用

※デッキの出幅最大寸法は、D＋32.5mm（12.5mm）です。
※デッキの間口最大寸法は、W＋65mm（25mm）です。（　）は、幕板B寸法です。
※デッキ最低H寸法は、束柱A：165mm、束柱B：250mmです。

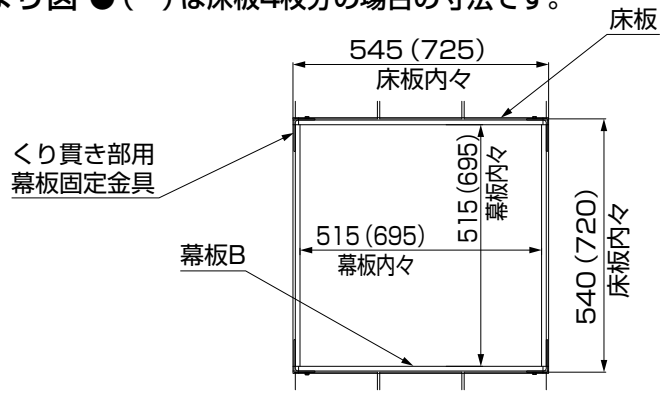
2-4 タイルフロアー納まり図





※タイルフロアーを取付ける位置の大引きピッチは900mmです。
※タイルフロアーを切りつめて取付ける場合は大引きピッチを600mmまたは300mmです。

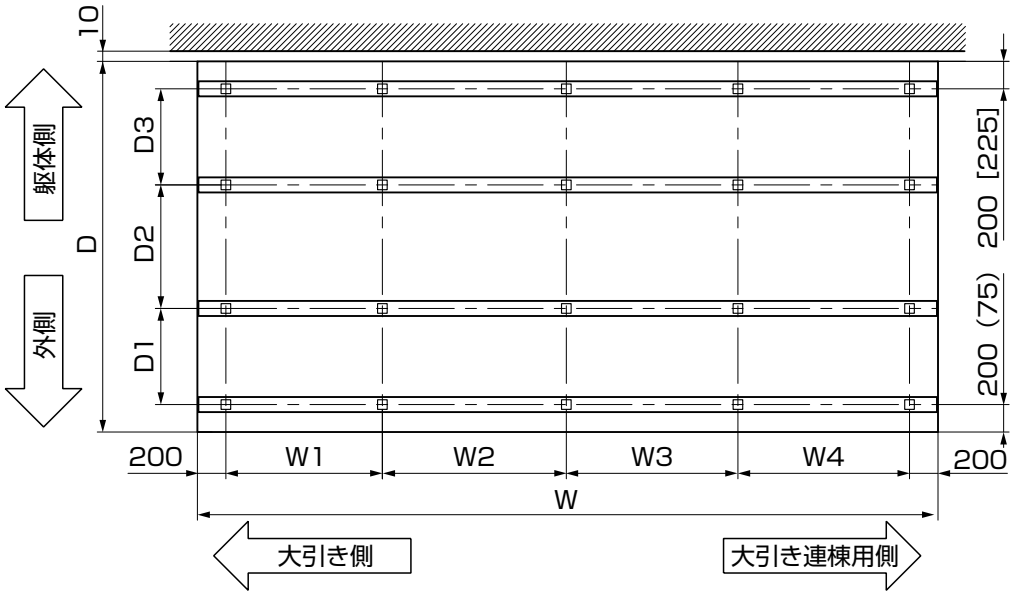
2-5 くり貫き納まり図 ●（　）は床板4枚分の場合の寸法です。



※デッキくり貫きが可能な寸法は、床板3枚分、もしくは4枚分です。
※くり貫き部の床板張出し寸法は、200mm以内としてください。

3 基本寸法

3-1 基本寸法



開口方向寸法

	床板外々 W	幕板A デッキ外々 W+65	幕板B デッキ外々 W+25	束柱ピッチ	ピッチ寸法 (大引き側) ⟷ (大引き連棟用側) W1	W2	W3	W4	W5	W6	使用大引
1.5間	2695	2760	2720	2	1140	1140	−	−	−	−	1.5間
2.0間	3595	3660	3620	2	1590	1590	−	−	−	−	2.0間
2.5間	4315	4380	4340	3	1300	1300	1300	−	−	−	2.5間
3.0間	5395	5460	5420	4	1140	1340	1250	1250	−	−	1.5間+1.5間(連棟用)
3.5間	6295	6360	6320	4	1140	1340	1700	1700	−	−	1.5間+2.0間(連棟用)
4.0間	7195	7260	7220	4	1590	1790	1700	1700	−	−	2.0間+2.0間(連棟用)
4.5間	7915	7980	7940	5	1300	1300	1500	1700	1700	−	2.5間+2.0間(連棟用)
5.0間	8815	8880	8840	6	1300	1300	1500	1500	1400	1400	2.5間+2.5間(連棟用)

大引き連結部分

出幅方向寸法

	床板出幅 W	幕板A デッキ出幅 W+33	幕板B デッキ出幅 W+13	大引きピッチ	ピッチ寸法 (外側) ⟷ (躯体側) D1	D2	D3	D4	D5	使用床板
3尺	900	933	913	−	500	−	−	−	−	L=900
4尺	1200	1233	1213	−	800	−	−	−	−	L=1200
5尺	1500	1533	1513	2	550	550	−	−	−	L=1500
6尺	1800	1833	1813	2	700	700	−	−	−	L=1800
7尺	2100	2133	2113	2	850	850	−	−	−	L=2100
8尺	2400	2433	2413	3	700	600	700	−	−	L=2400
9尺	2700	2733	2713	4	700	900	700	−	−	L=2700
10尺	2900	2933	2913	4	700	900	900	−	−	L=2900
12尺	3600	3633	3613	4	700	900	900	700	−	L=900(L=1800を2分割)、2700
15尺	4500	4533	4513	5	700	900	900	900	700	L=1800、2700

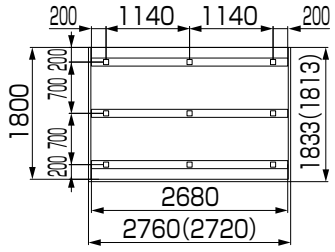
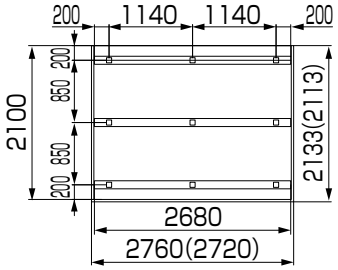
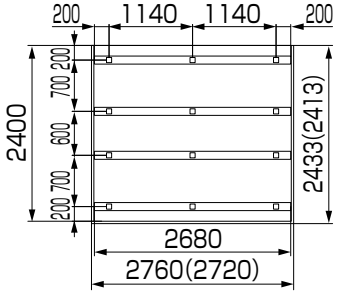
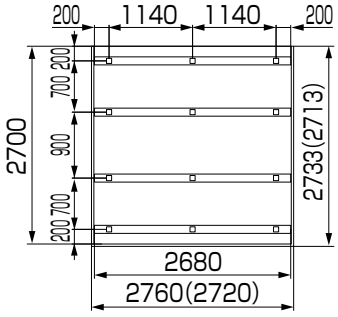
床板連結部分

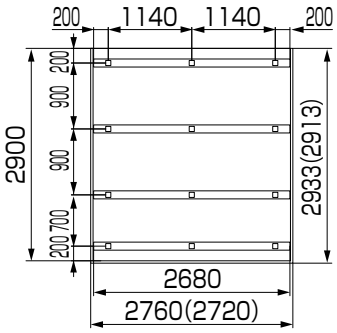
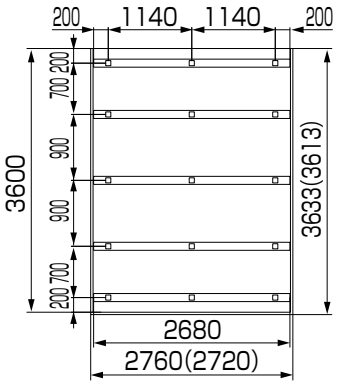
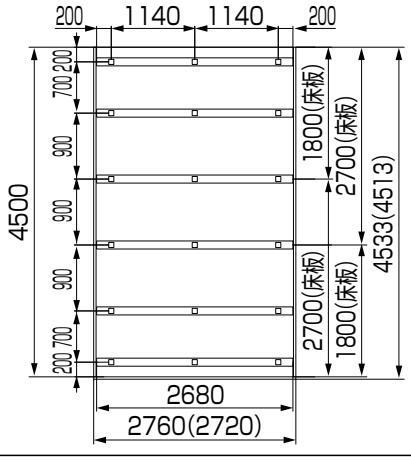
※(　　)寸法は、幕板を大引き固定する場合の寸法です。
※[　　]寸法は、幕板大引き固定で出幅7尺の場合の寸法です。
※大引きの束柱最大芯々寸法は、1800mm以内にしてください。
※床下化粧材を取付ける位置の束柱芯々寸法は900mm以内にしてください。
※出幅方向の大引き最大芯々寸法は900mm以内にしてください。
※床板端部張出し最大寸法は、前面側200mm以内、躯体側225mm以内にしてください。
※大引きは、間口3.0間以上で連結部があります。
※大引きの連結部は、束柱を取付けてください。
※床板は出幅12尺以上で連結部があります。

3-2 1.5間

●図は、幕板を床板固定する場合の寸法です。幕板大引き固定は「3-1 基本寸法」を参照してください。
●(　)は幕板Bの寸法です。幕板Bは、コーナー部で45°切断せずに間口方向優先で納めています。
●代表サイズが記載されています。3～5尺に関しては「3-1 基本寸法」を参照してください。

※大引きの束柱最大芯々寸法は、1800mm以内にしてください。
※出幅方向の大引き最大芯々寸法は900mm以内にしてください。
※床板端部張出し最大寸法は、前面側200mm以内、躯体側225mm以内にしてください。

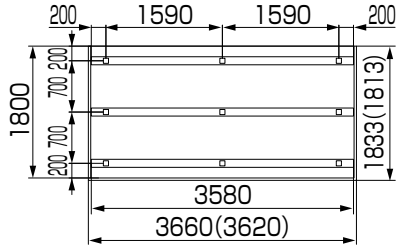
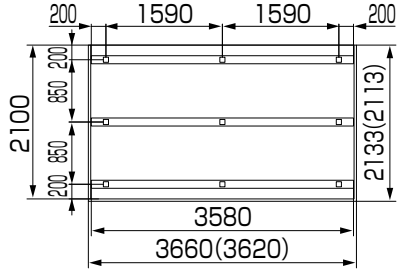
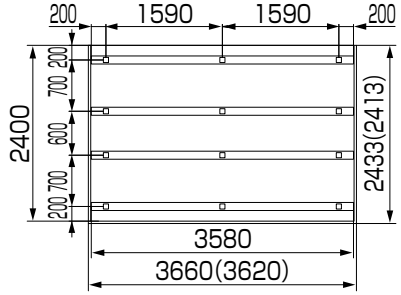
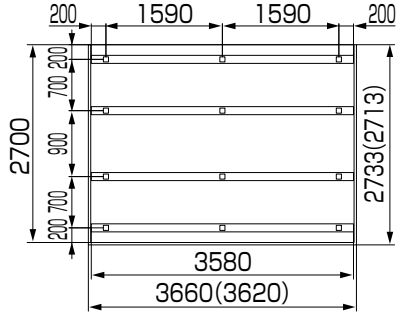
仕様 / 屋根出幅	1.5間
6尺	
7尺	
8尺	
9尺	

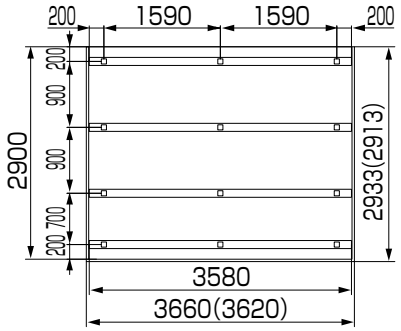
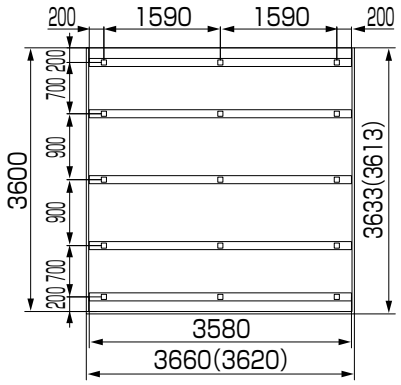
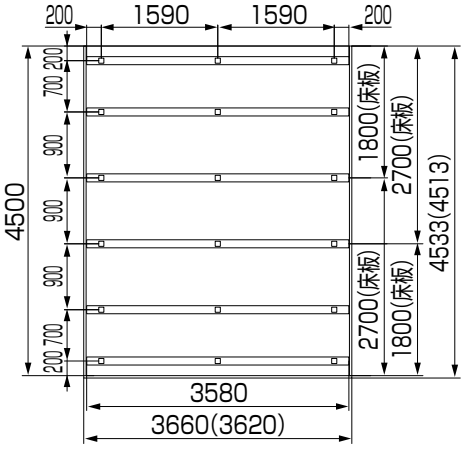
仕様 / 屋根出幅	1.5間
10尺	
12尺	
15尺	

3-3 2.0間

●図は、幕板を床板固定する場合の寸法です。幕板大引き固定は「3-1 基本寸法」を参照してください。
●(　)は幕板Bの寸法です。幕板Bは、コーナー部で45°切断せずに間口方向優先で納めています。
●代表サイズが記載されています。3～5尺に関しては「3-1 基本寸法」を参照してください。

※大引きの束柱最大芯々寸法は、1800mm以内にしてください。
※出幅方向の大引き最大芯々寸法は900mm以内にしてください。
※床板端部張出し最大寸法は、前面側200mm以内、躯体側225mm以内にしてください。

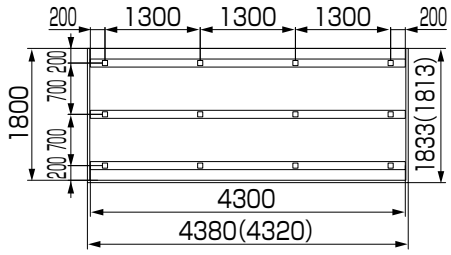
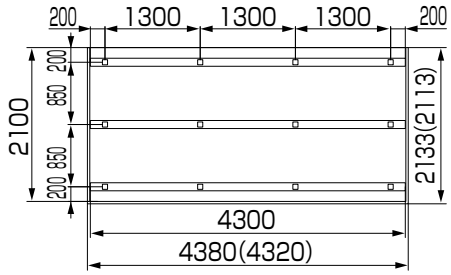
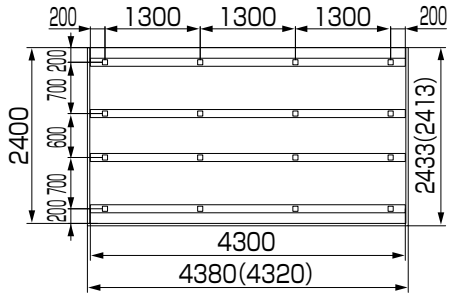
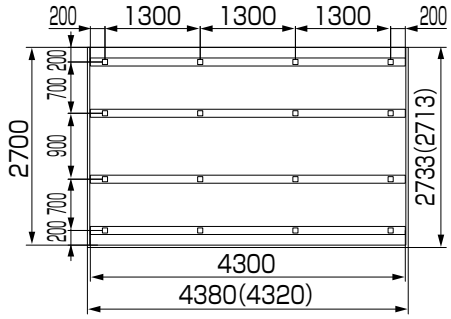
仕様 / 屋根出幅	2.0間
6尺	
7尺	
8尺	
9尺	

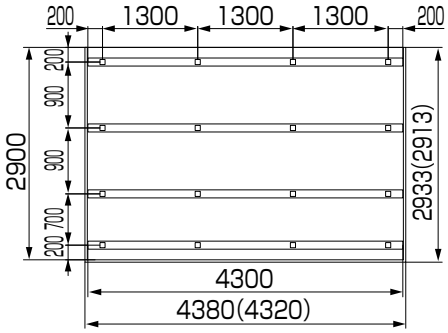
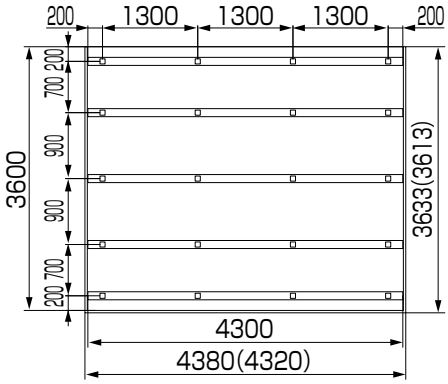
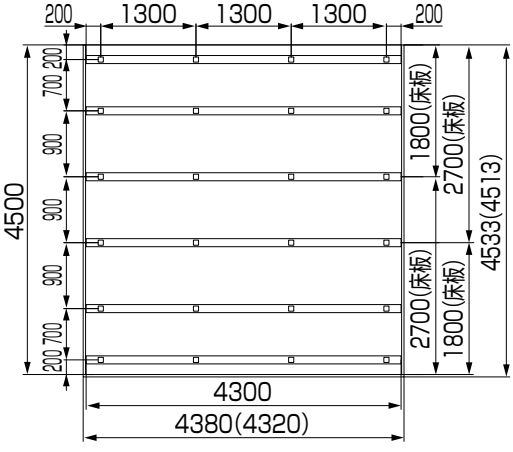
仕様 / 屋根出幅	2.0間
10尺	
12尺	
15尺	

3-4 2.5間

●図は、幕板を床板固定する場合の寸法です。幕板大引き固定は「3-1 基本寸法」を参照してください。
●(　)は幕板Bの寸法です。幕板Bは、コーナー部で45°切断せずに間口方向優先で納めています。
●代表サイズが記載されています。3～5尺に関しては「3-1 基本寸法」を参照してください。

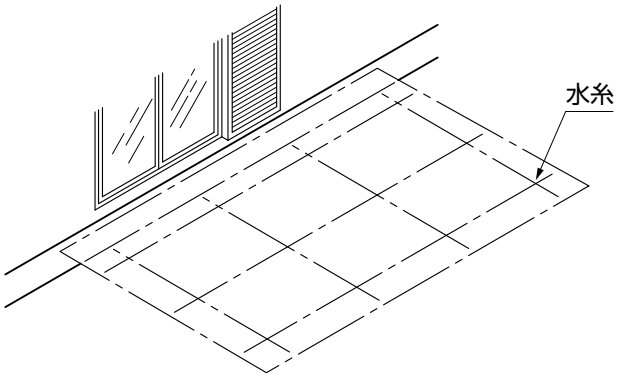
※大引きの束柱最大芯々寸法は、1800mm以内にしてください。
※出幅方向の大引き最大芯々寸法は900mm以内にしてください。
※床板端部張出し最大寸法は、前面側200mm以内、躯体側225mm以内にしてください。

仕様 / 屋根出幅	2.5間
6尺	
7尺	
8尺	
9尺	

仕様 / 屋根出幅	2.5間
10尺	
12尺	
15尺	

3.本体の施工方法

1 基礎石配置



①「2.基本寸法と各部名称 3.基本寸法」を参照して、前面・両側面の水糸に寸法出しをし、基礎石の位置を決定してください。

※本体の仕様位置によっては、柱と基礎石が干渉する場合があります。本体の施工前にその事を確認の上、必要に応じて基礎を移動してください。

2 基礎の施工

2-1 基礎石の埋込み

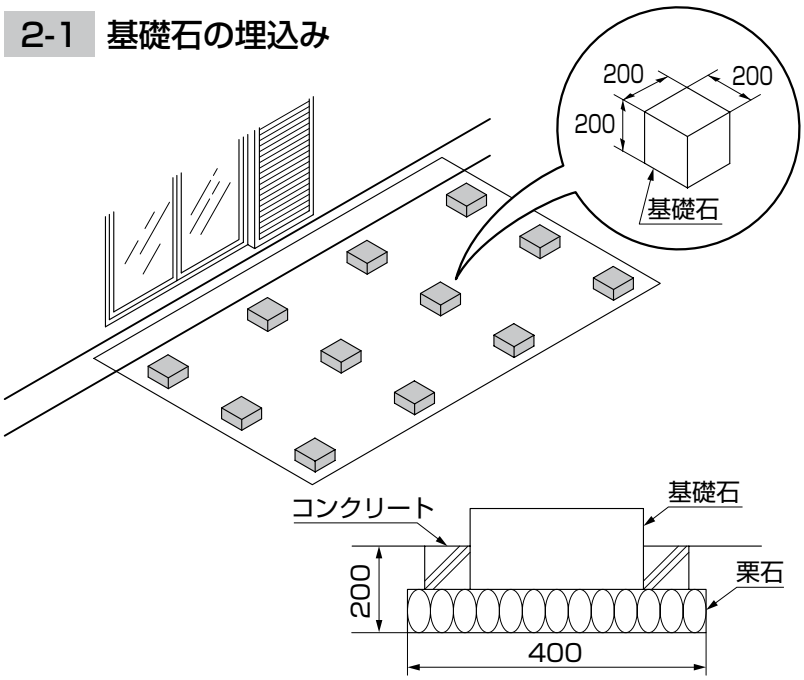


図2-1

①各基礎石の位置を約400mm角、深さ200mmに掘り、栗石を敷いて、基礎石を据えてください。

※この作業が十分でないと、基礎の沈みが発生する場合があります。

②基礎石のレベルを出してください。
③基礎石のまわりをコンクリートで固めてください。

※コンクリートで基礎を固めないと、基礎の浮き沈みが発生する場合があります。

2-2 束柱の加工

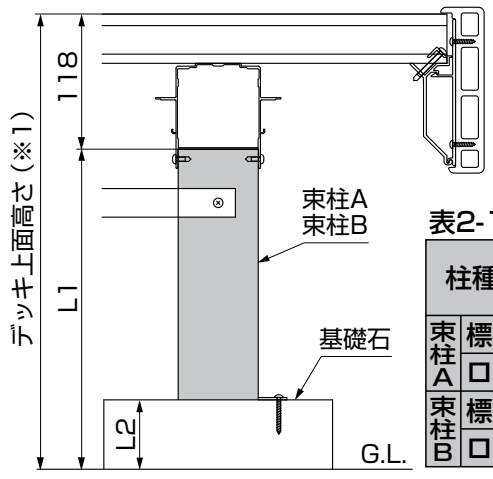


図2-2

①デッキ上面高さ（※1）を決定してください。

※デッキ上面高さを決めると、L1が決まります。

②束柱Aまたは束柱Bを、L1からL2を引いた寸法で切断加工してください。

表2-1

柱種類		束柱最大切詰寸法	デッキ最低寸法
束柱A	標　準	385	165
	ロング	935	165
束柱B	標　準	各150	250
	ロング	上700 下150	250

※束柱Aまたは束柱Bを切断するときには、基礎石の寸法を考えて切断加工してください。
※束柱Bは高さ調整式で、調整寸法は150mmです。
※束柱Bの切断は、柱下部側の下面方向ならびに柱上部側の上面方向より、同寸法で行ってください。

3 束柱・大引きの取付け

3-1 束柱と大引きの取付け

（1）束柱Aの場合

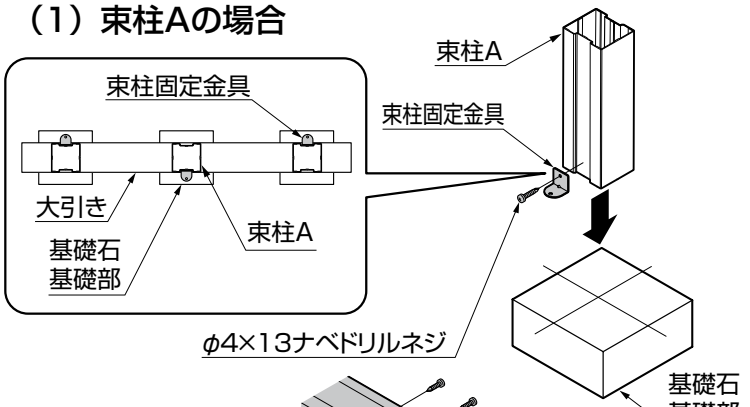


図3-1

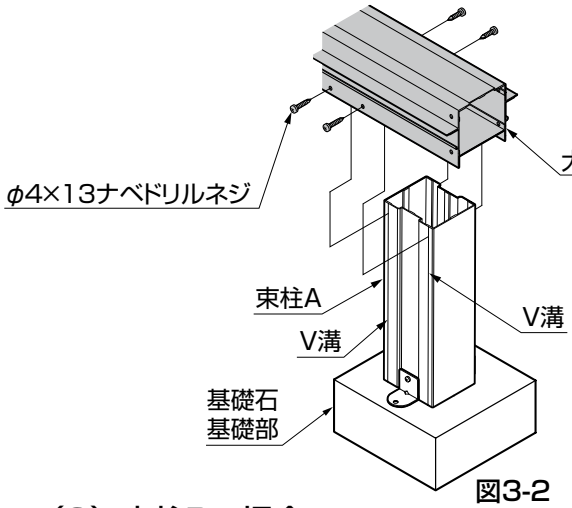


図3-2

①束柱Aに、束柱固定金具をφ4×13ナベドリルネジで固定してください。

※束柱固定金具は、それぞれの束柱に交互に取付けてください。（図3-1参照）

②「2.基本寸法と各部名称 3.基本寸法」を参照して、前面・両側面の水糸に寸法出しをし、基礎石または基礎部に束柱Aをのせてください。

※基礎部材の水平・直角等を確認してください。

③大引きと束柱AをV溝に合わせてφ4×13ナベドリルネジで固定してください。

（2）束柱Bの場合

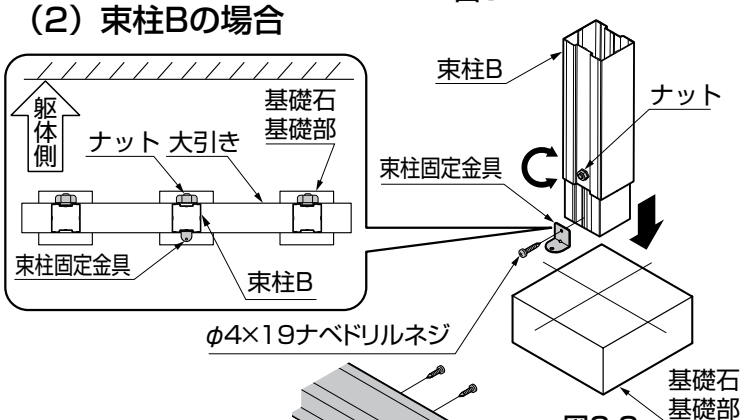


図3-3

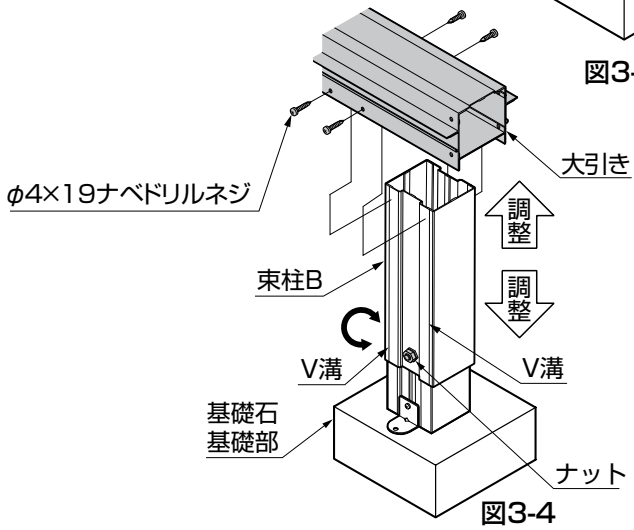


図3-4

①束柱Bに、束柱固定金具をφ4×19ナベドリルネジで固定してください。

※束柱固定金具は、それぞれの束柱に交互に取付けてください。（図3-3参照）
※束柱Bはナットを緩め、内側の束柱をスライドさせて表へ出し、ナットを仮締めして、内側の束柱が下になるように取付けてください。
※束柱Bの場合は、ナット部分が躯体側になるように取付けてください。

②「 2.基本寸法と各部名称 3.基本寸法」を参照して、前面・両側面の水糸に寸法出しをし、基礎石または基礎部に束柱Bをのせてください。

※基礎部材の水平･直角等を確認してください。
※束柱Bはナットを緩め、高さを調節し、水平･直角を確認してからナットを締め、V溝にφ4×19ナベドリルネジで固定してください。

③大引きと束柱BをV溝に合わせてφ4×19ナベドリルネジで固定してください。

3-2 大引きの連結方法

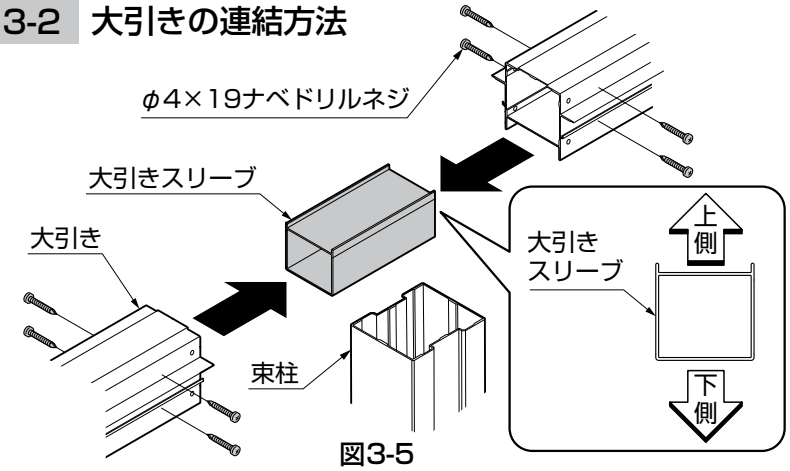


図3-5

①大引きスリーブを大引きに挿入して、φ4×19ナベドリルネジで固定してください。

※大引きの連結部は、束柱の中央上部で突き合わせて固定してください。（図3-6参照）
※大引きスリーブ材の上下を確認してから、組付けてください。

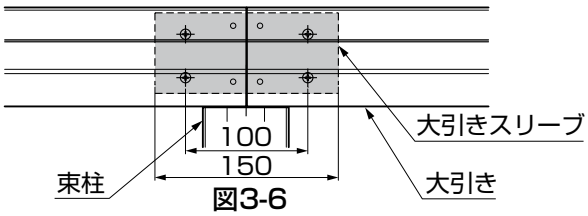
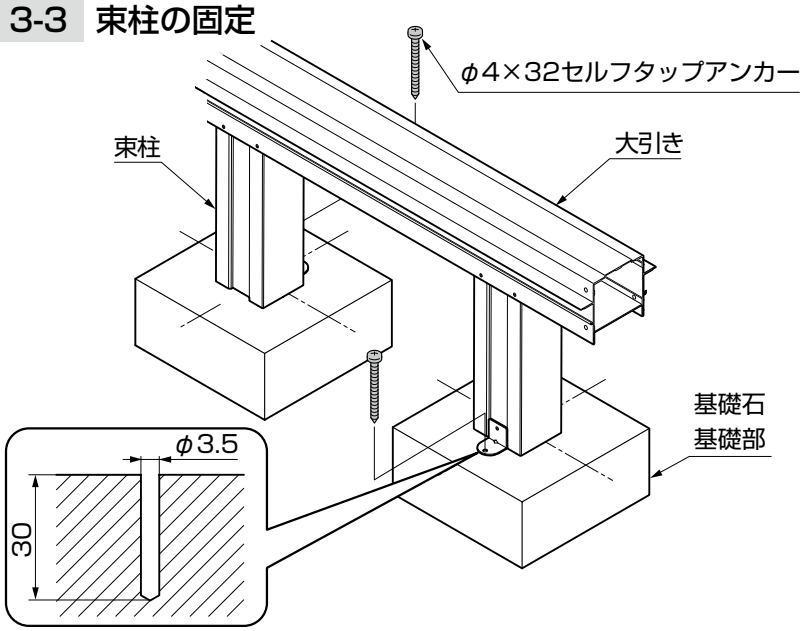


図3-6

3-3 束柱の固定



①基礎石または基礎部に、φ3.5で深30mmの下孔をあけてください。

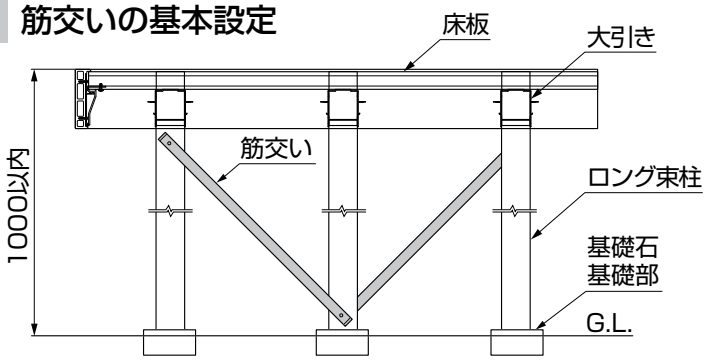
②束柱固定金具を基礎石または基礎部にφ4×32セルフタップアンカーで固定してください。

※束柱と基礎石の固定は、基礎部材の水平・直角等を確認後に行ってください。

4 筋交いの取付け

●ロング束柱の場合の作業です。

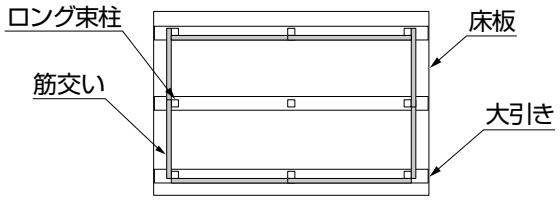
4-1 筋交いの基本設定



※筋交いの取付けは、筋交い基本設定基準および施工実施例を参考に施工してください。
※床下化粧材を取付ける場合は、筋交いをデッキ内側に取付けてください。

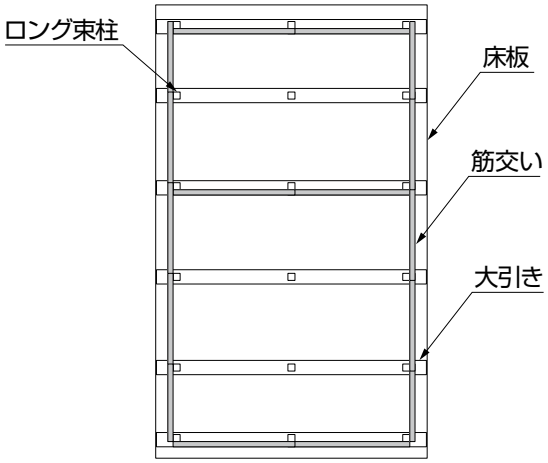
4-2 筋交いの施工実施例

（1）出幅4000mm未満、間口4000mm未満の場合



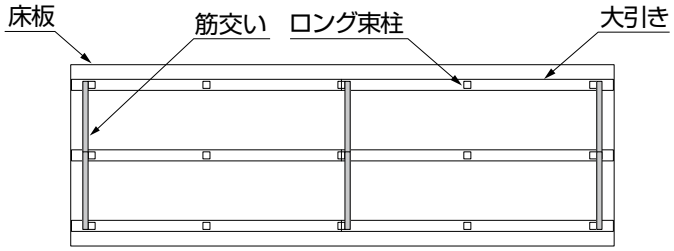
※大引き方向は、前面側と躯体側に配置してください。
※床板方向は、両側面側に配置してください。

（2）出幅4000mm以上、間口4000mm未満の場合



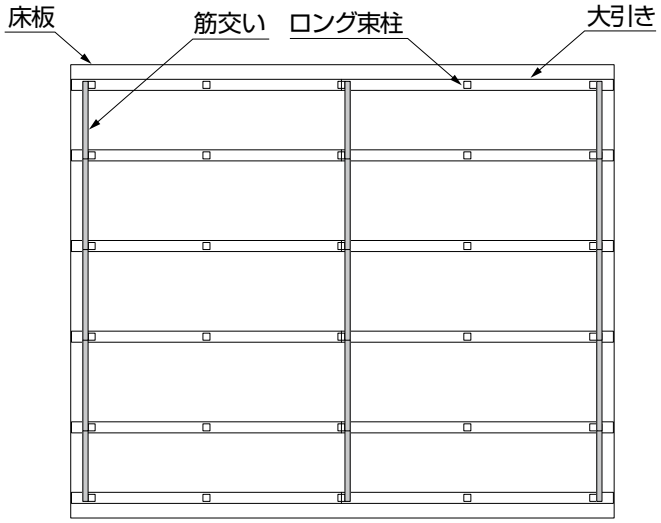
※大引き方向は、前面側、躯体側ならびに出幅4000mmにつき1筋配置してください。
※床板方向は、両側面側に配置してください。

（3）出幅4000mm未満、間口4000mm以上の場合



※床板方向は、両側面側と間口4000mmにつき1筋配置してください。

（4）出幅4000mm以上、間口4000mm以上の場合



※床板方向は、両側面側と間口4000mmにつき1筋配置してください。

4-3 筋交いの取付け

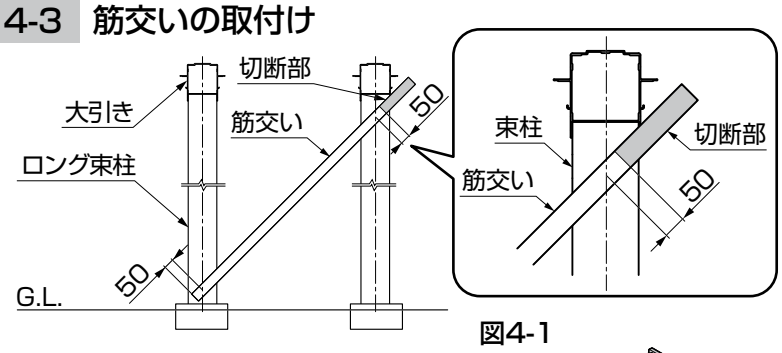


図4-1

①取付位置を確認し、束柱の中心から50mm程度で切断してください。

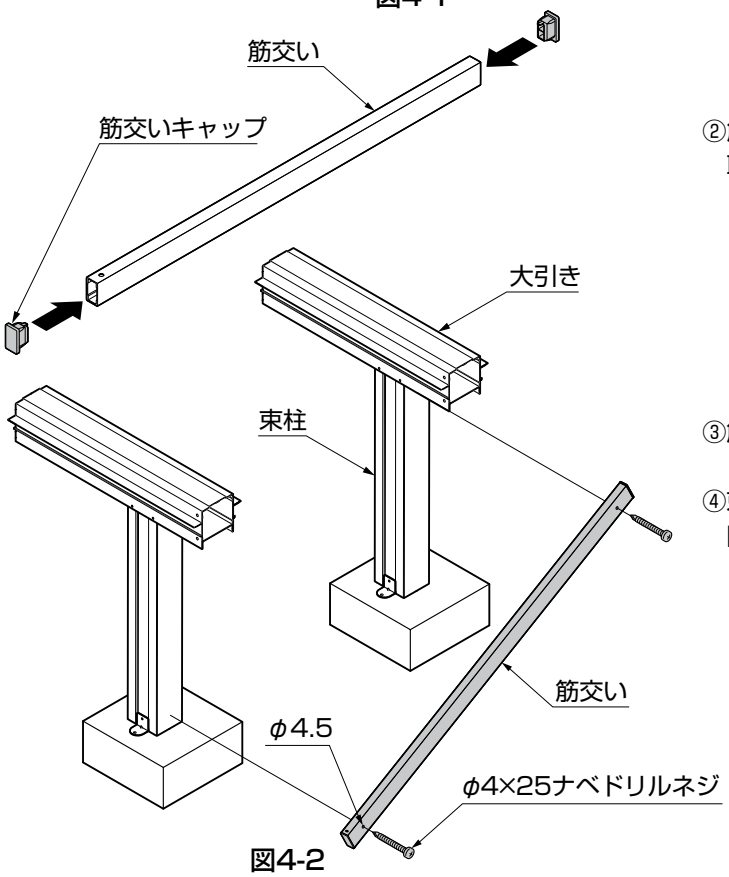


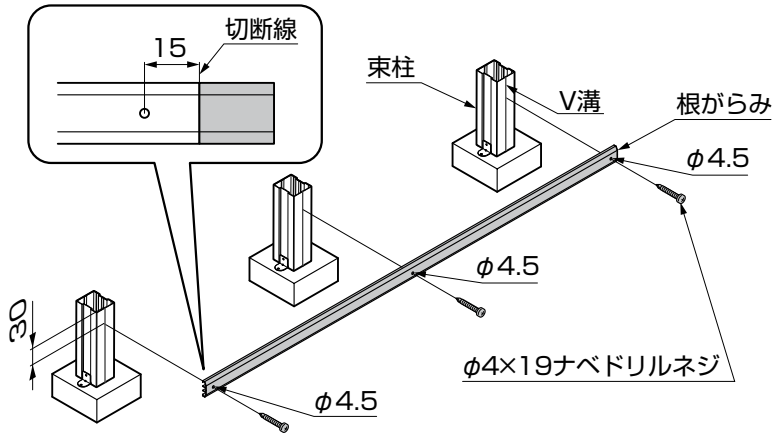
図4-2

②筋交いの両端に筋交いキャップを押し込んで取付けてください。

③筋交いにφ4.5の孔をあけてください。

④束柱に筋交いを、φ4×25ナベドリルネジで固定してください。

5 根がらみの取付け オプション



①大引きのピッチにあわせて根がらみにφ4.5の孔をあけてください。

②根がらみを端部の孔から15mmの位置で切断してください。

③束柱のV溝にあわせて根がらみを束柱の上端から30mmの位置に、φ4×19ナベドリルネジで取付けてください。

6 側面幕板取付材の取付け

6-1 側面幕板A取付材の取付け

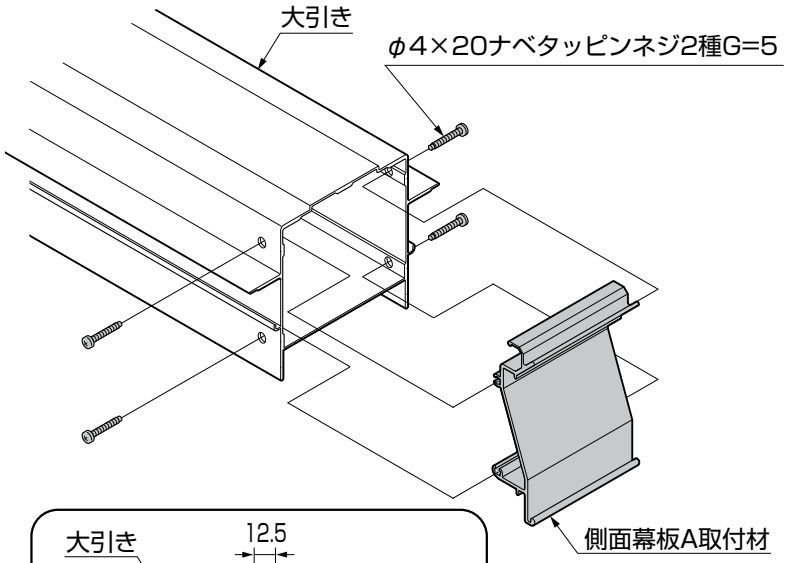


図6-1

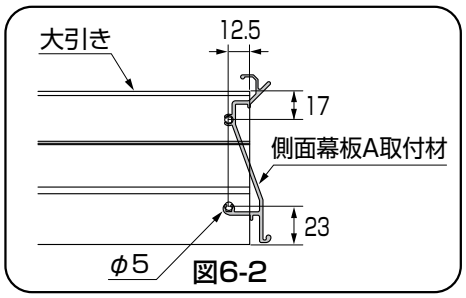


図6-2

①床板を取付け始める側に、側面幕板A取付材を大引きにφ4×20ナベタッピンネジ2種G=5 で固定してください。

※反対側は床板を取付け終えてから、側面幕板A取付材を取付けてください。
※大引き切断の場合は、図6-2を参照して下孔をあけてください。

6-2 側面幕板B取付材の取付け

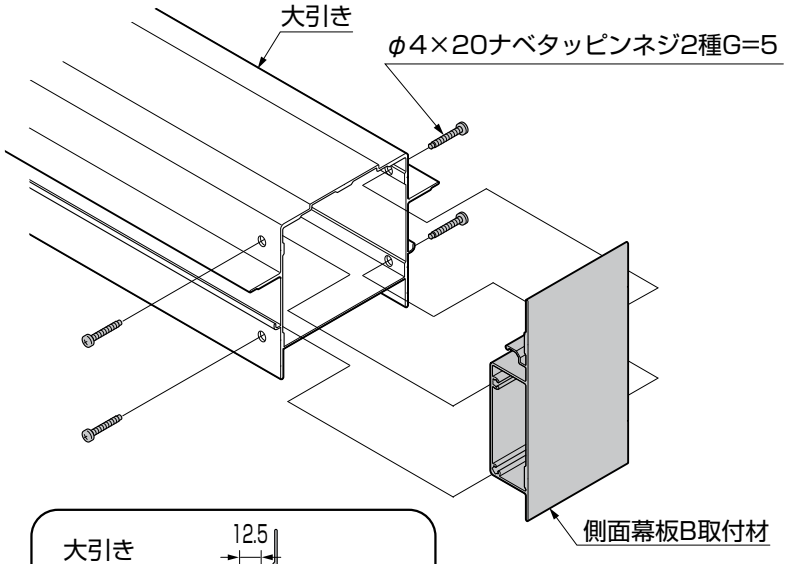


図6-3

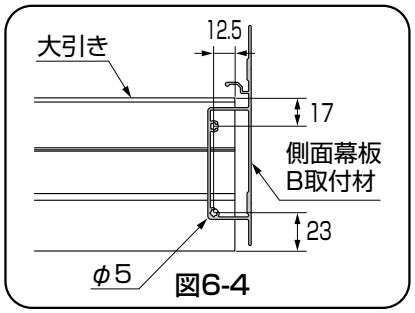


図6-4

①床板を取付け始める側に、側面幕板B取付材を大引きにφ4×20ナベタッピンネジ2種G=5で固定してください。

※反対側は床板を取付け終えてから、側面幕板B取付材を取付けてください。
※大引き切断の場合は、図6-4を参照して下孔をあけてください。

7 床板補強材の取付け

7-1 床板補強材の取付位置の確認

（1）デッキ前面部にフェンス柱を取付ける場合

●デッキ前面部に取付ける場合の作業です。デッキ側面部には不要です。

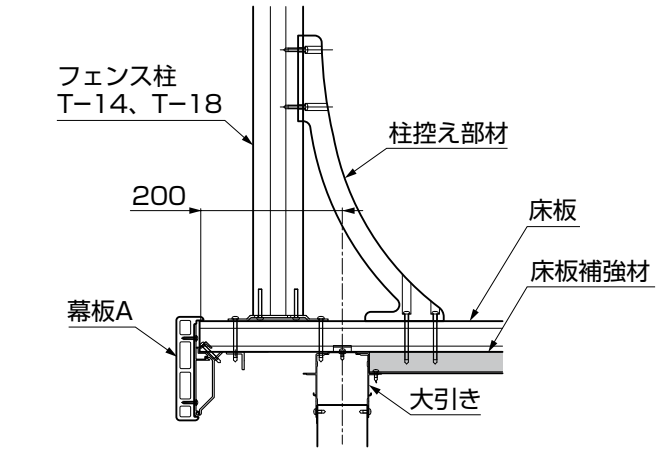


図7-1

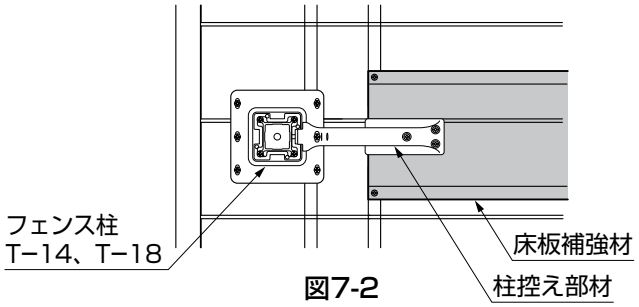


図7-2

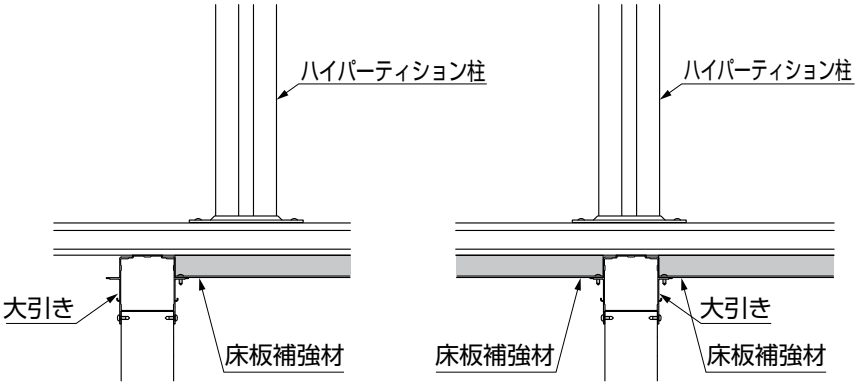
⚠ 注 意

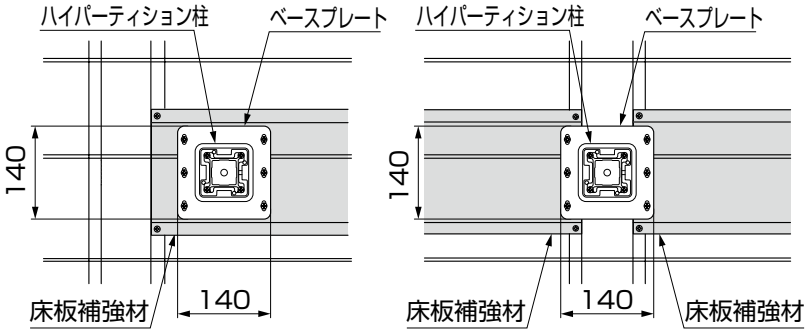
●左図はフェンス柱がT-14以上の場合です。T-12以下の場合は、床板補強材および柱控え部材は不要です。

●フェンス柱T−14、T−18をデッキ前面部に取付ける場合は、柱控え部材の固定、強度確保のために床板補強材を取付けてください。

●床板の張出しを大引きの中心から200mmにしてください。
短くすると、柱が取付かなくなる場合があります。

（2）デッキ中間部にハイパーティション柱を取付ける場合

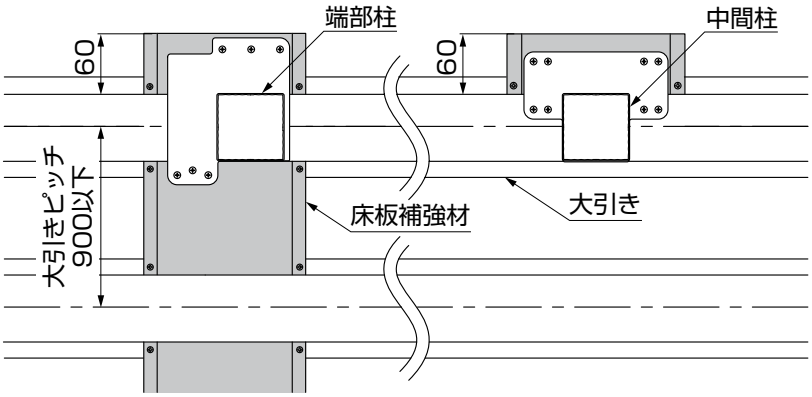




⚠ 注 意

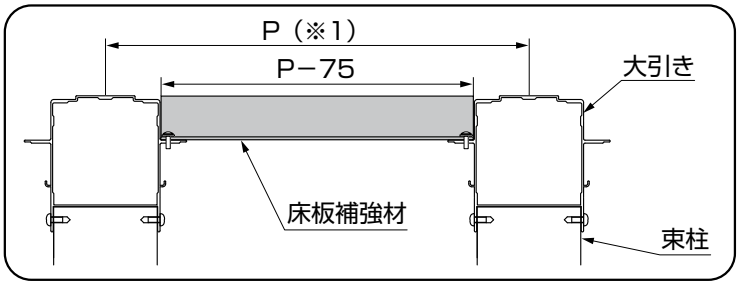
●ハイパーティション柱をデッキ中間部に取付ける場合は、ベースプレートの固定、強度確保のために床板補強材を取付けてください。

（3）ほせるんですⅡ（デッキON）を取付ける場合

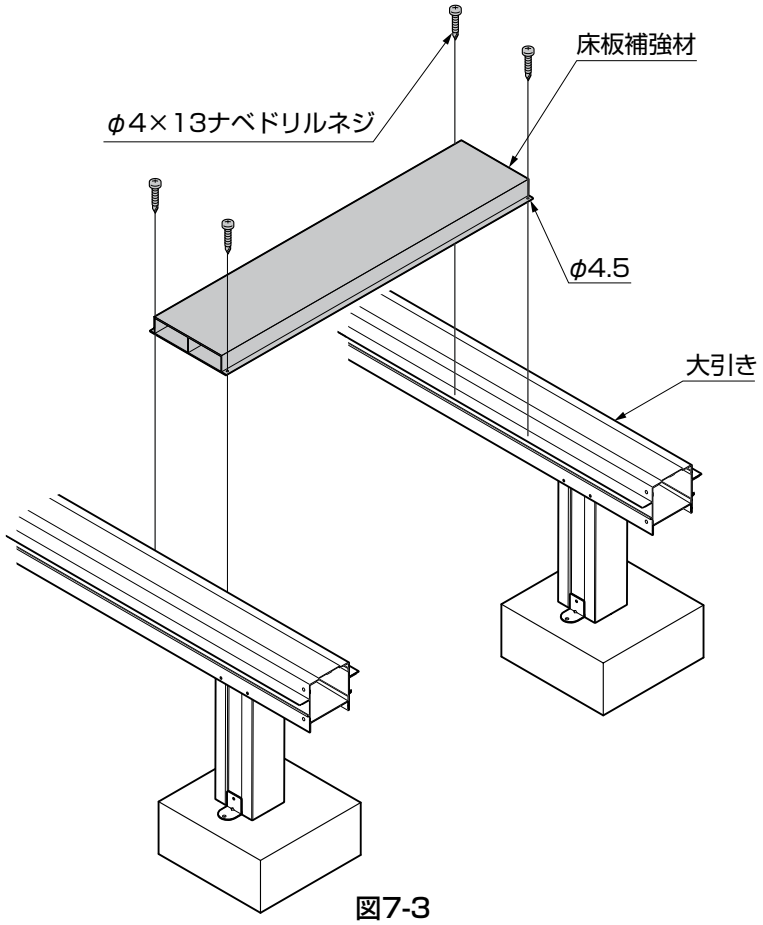


※ほせるんですⅡ（デッキON）を取付ける場合は、床板補強材を取付けてください。
※大引きピッチは900以下にしてください。
※前面下枠は、大引きに固定してください。
※側面下枠は、床板補強材に固定してください。
※柱の取付位置の直下に大引きを設置してください。
※詳細は「ほせるんですⅡ 人工木 取付説明書」を参照してください。

7-2 床板補強材の取付け



①大引きピッチ（※1）にあわせて床板補強材を切断してください。（図7-3参照）



②床板補強材1本当りに4ヶ所、φ4.5の孔をあけてください。

③大引きに床板補強材を、φ4×13ナベドリルネジで固定してください。

図7-3

8 補助根太の取付け

8-1 補助根太取付部品の取付け　●特殊納まりの加工です。

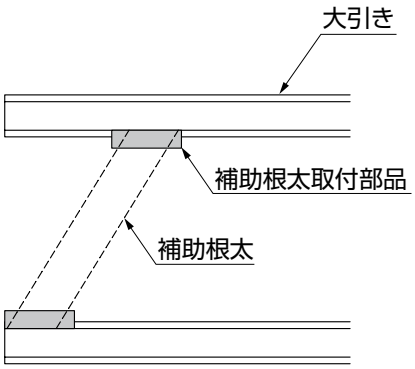


図8-1

①補助根太を取付ける位置を確認してください。

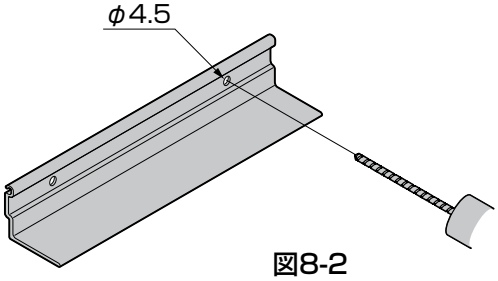


図8-2

②補助根太取付部品に2ヶ所、φ4.5の孔をあけてください。

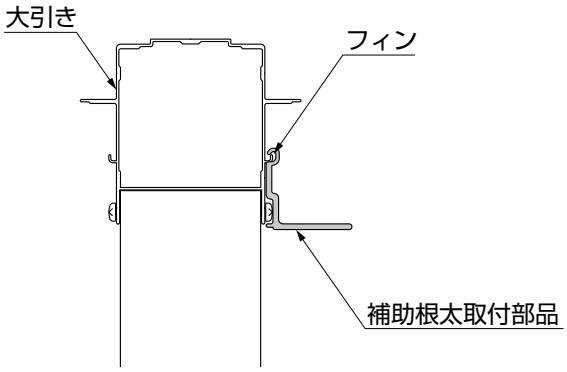


図8-3

③補助根太取付部品の上部を、大引きのフィンにひっかけて取付けてください。

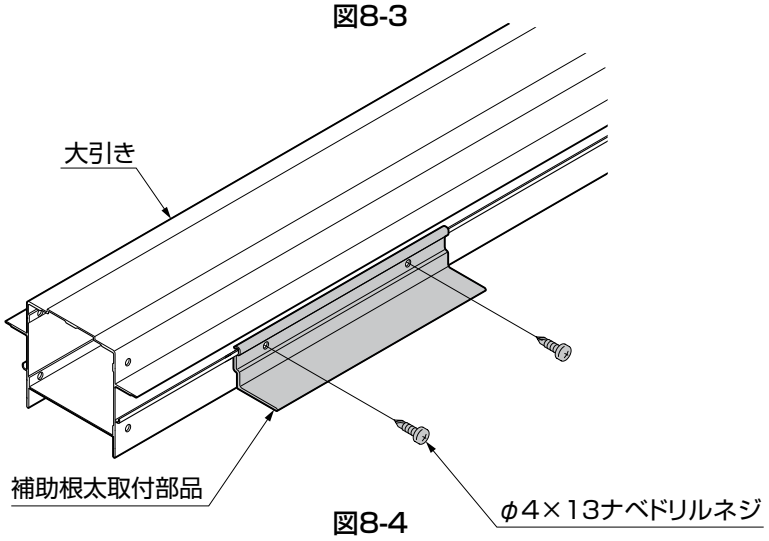


図8-4

④大引きに補助根太取付部品を、φ4×13ナベドリルネジで固定してください。

8-2 角切り　●特殊納まりの加工です。

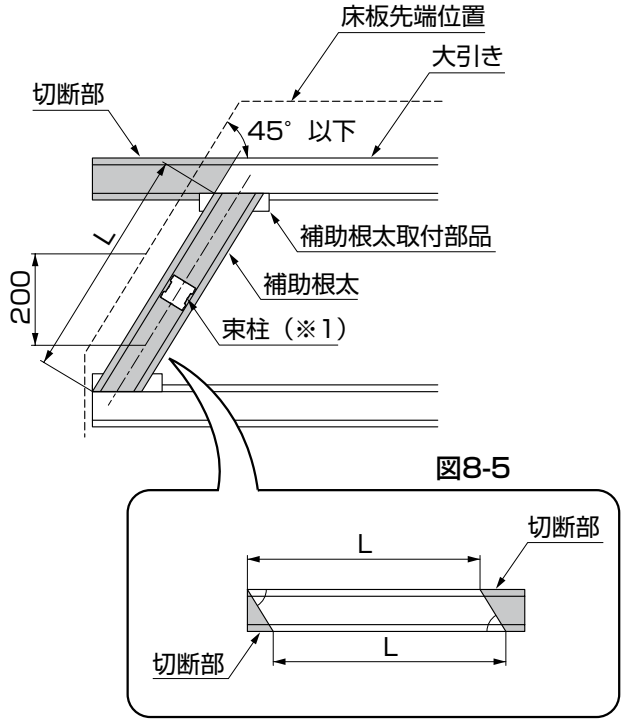


図8-5

※床板の角切りは、45°以下で切断するように補助根太をつけてください。

①角切りする角度で大引きを切断してください。

※L寸法が800mm以上の場合は、中間部に束柱（※1）を設置してください。
※補助根太の中心から床板先端まで200mm以内にしてください。

②L寸法を実測して、角切りする角度で、補助根太を切断してください。

※L寸法が2000mm以上の場合は、補助根太の代わりに大引きを使用し、束柱を2本設置してください。

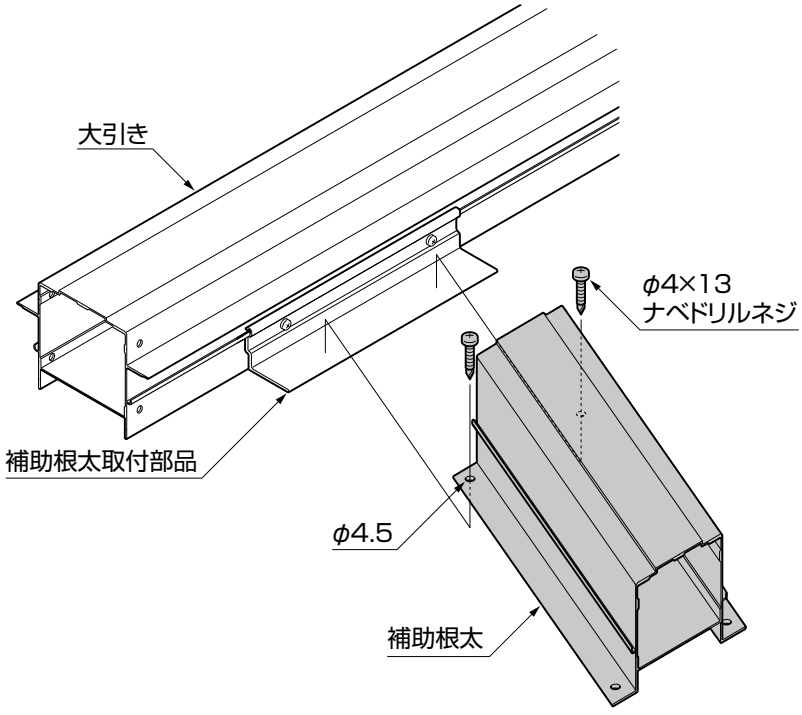


図8-6

③補助根太に4ヶ所、φ4.5の孔をあけてください。

④補助根太を補助根太取付部品に、φ4×13ナベドリルネジで固定してください。

8-3 R加工　●特殊納まりの加工です。

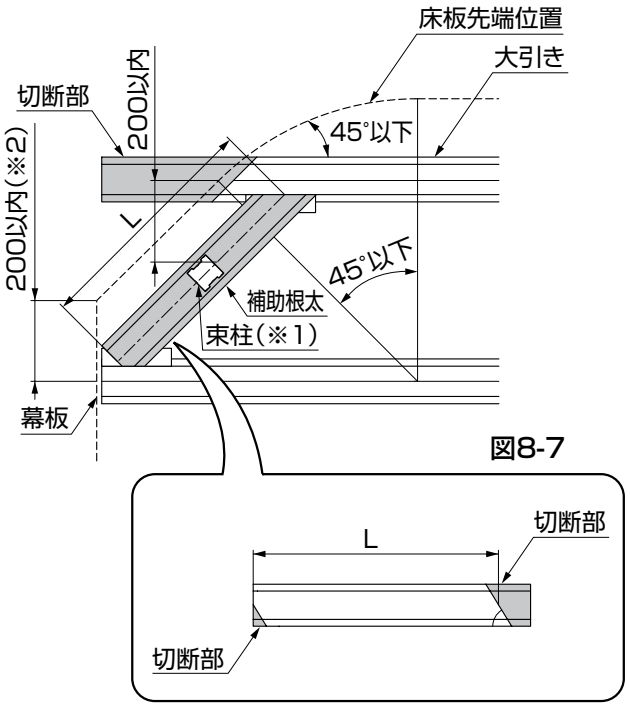


図8-7

※床板の角切りは、45°以下で切断するように補助根太をつけてください。

①床板の先端に合わせて大引きを切断してください。

※L寸法が800mm以上の場合は、中間部に束柱(※1)を設置してください。
※補助根太の中心から床板先端まで200mm以内にしてください。
※側面幕板のとび出し(※2)は200mm以内にしてください。

②L寸法を実測して、現物に合わせて補助根太を切断してください。

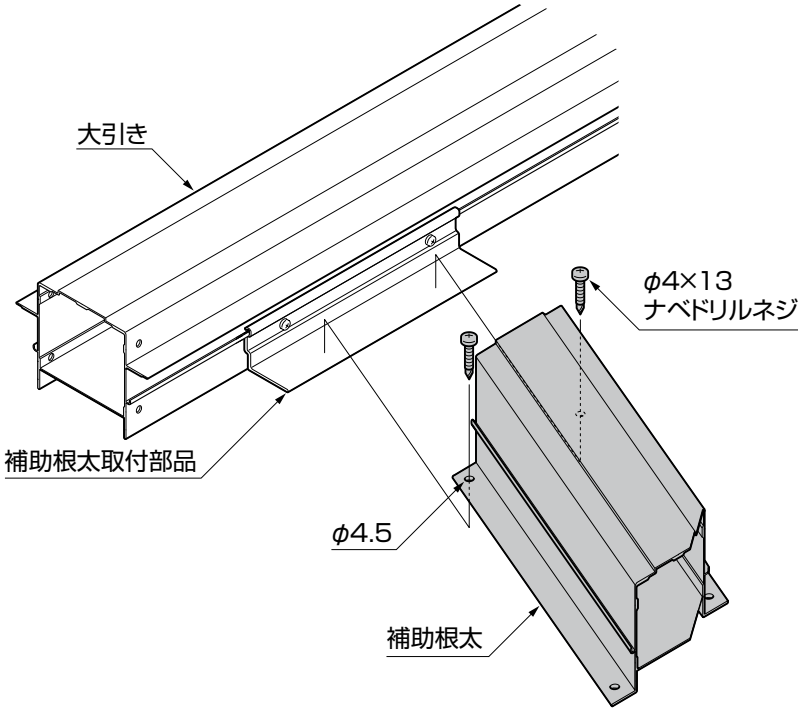


図8-8

③補助根太に3ヶ所、φ4.5の孔をあけてください。

④補助根太を補助根太取付部品に、φ4×13ナベドリルネジで固定してください。

9 躯体付けアングルの取付け オプション

●躯体面と大引きとの距離が200mmを超える場合の作業です。

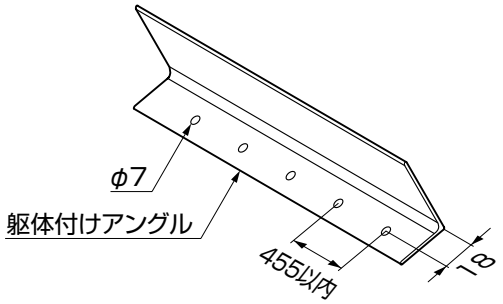


図9-1

※躯体付けアングル上面と、大引き上面の高さは同じにしてください。

①躯体付けアングルにφ7の孔を、455mmピッチ以内であけてください。

②躯体付けアングルを躯体にφ6×70六角タッピンネジ1種で固定してください。

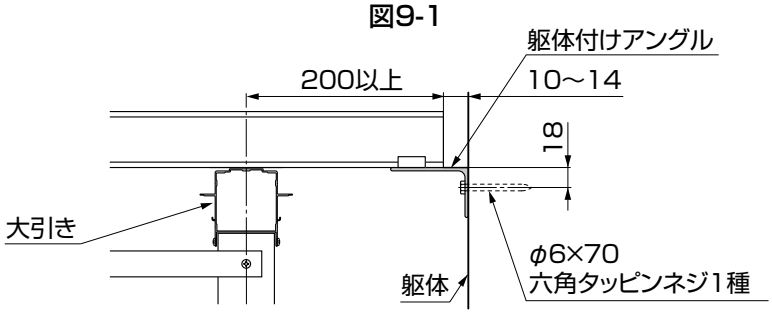


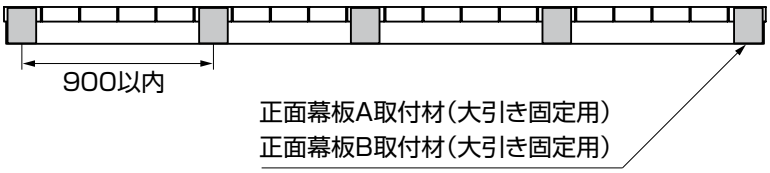
図9-2

※φ6×70六角タッピンネジ1種は、躯体の構造部材に取付けてください。

10 正面幕板取付材（大引き固定用）の取付け

●正面幕板を大引き固定する場合の作業です。

10-1 正面幕板取付材（大引き固定用）の取付位置の確認



①図を参照して、正面幕板A取付材（大引き固定用）または正面幕板B取付材（大引き固定用）を取付ける位置を確認してください。

※取付位置は900mmピッチ以内になるように取付けてください。

※正面幕板取付材（大引き固定用）は、始まりと終わり、および幕板接続部に必ず取付けてください。

※フェンスベースプレートの固定に正面幕板取付材（大引き固定用）を用いる場合は、「MAL-245デッキフェンス、MAL-246ウッドパーティション、MAL-247ハイパーパーティション」の取付け説明書を参考に位置を確認してください。

10-2 正面幕板取付材（大引き固定用）の取付け

（1）正面幕板A取付材（大引き固定用）の場合

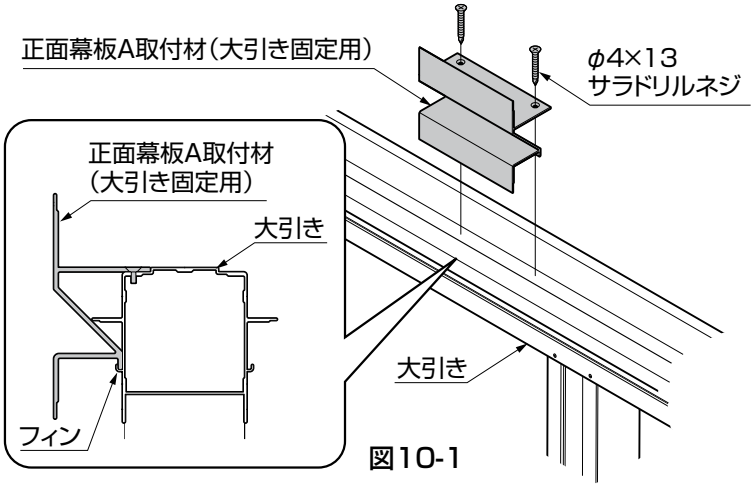


図10-1

①正面幕板A取付材（大引き固定用）を大引きのフィンに引っかけて取付けてください。

②正面幕板A取付材（大引き固定用）を大引きにφ4×13サラドリルネジで固定してください。

(2) 正面幕板A取付材 (大引き固定用) を内側からネジ止めする場合

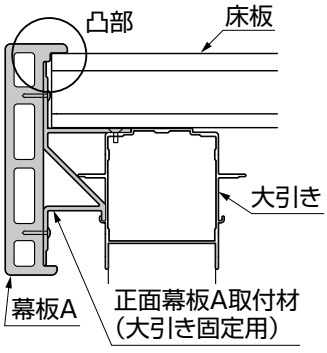


図10-2

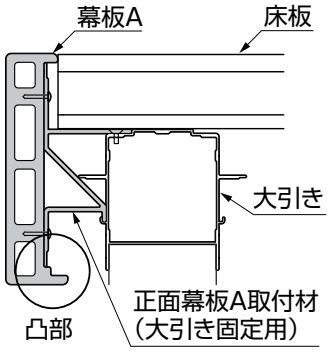


図10-3

※幕板Aの凸部を上に正面幕板A取付材 (大引き固定用) を取付けると、幕板と床板のすき間を隠すことができますが、床板との段差ができます。(図10-2参照)

※幕板Aの凸部を下に正面幕板A取付材 (大引き固定用) を取付けると、床板はフラットになります。(図10-3参照)

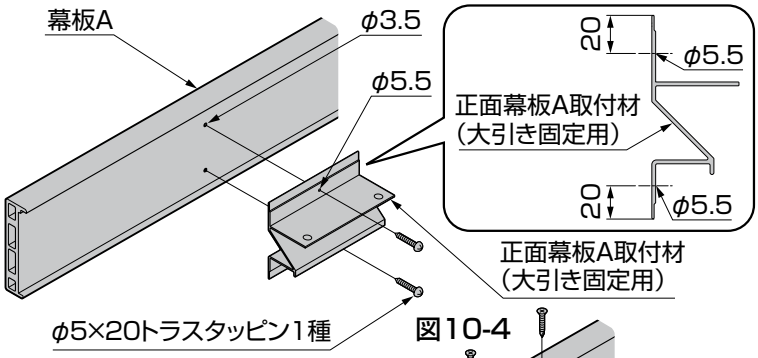


図10-4

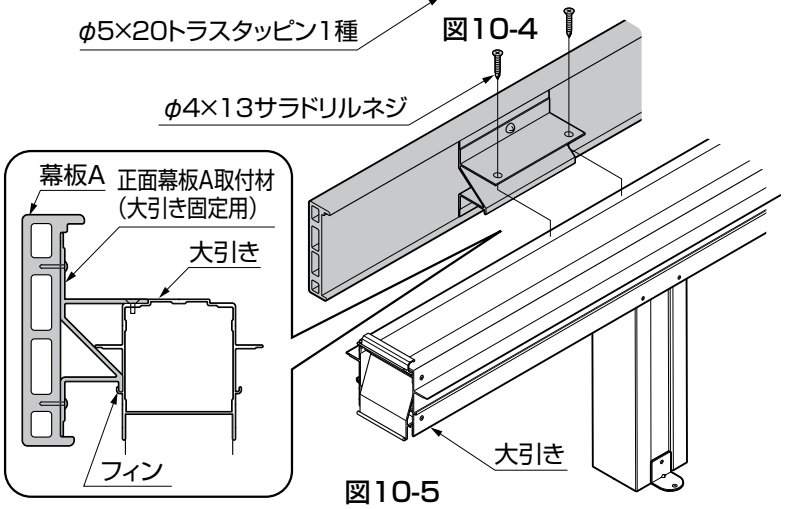


図10-5

①正面幕板A取付材 (大引き固定用) に上部から20mmと下部から20mmに2ヶ所、5.5の孔をあけてください。(図10-4参照)

②正面幕板A取付材 (大引き固定用) を幕板Aにあてて、幕板Aにφ3.5の下孔をあけてください。

③正面幕板A取付材 (大引き固定用) を幕板Aに、φ5×20トラスタッピン1種で取付けてください。

④正面幕板A取付材 (大引き固定用) を、大引きのフィンに引っかけて取付けてください。

⑤正面幕板A取付材 (大引き固定用) を、大引きにφ4×13サラドリルネジで固定してください。

(3) 正面幕板B取付材 (大引き固定用) の場合

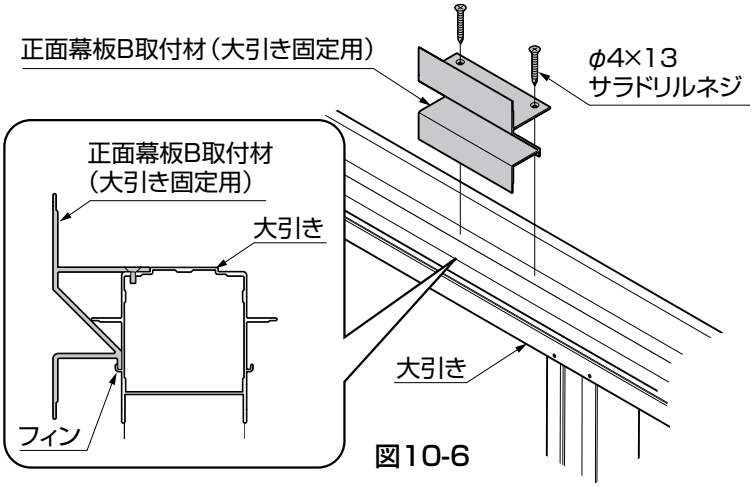


図10-6

①正面幕板B取付材 (大引き固定用) を、大引きのフィンに引っかけて取付けてください。

②正面幕板B取付材(大引き固定用)を、大引きにφ4×13サラドリルネジで固定してください。